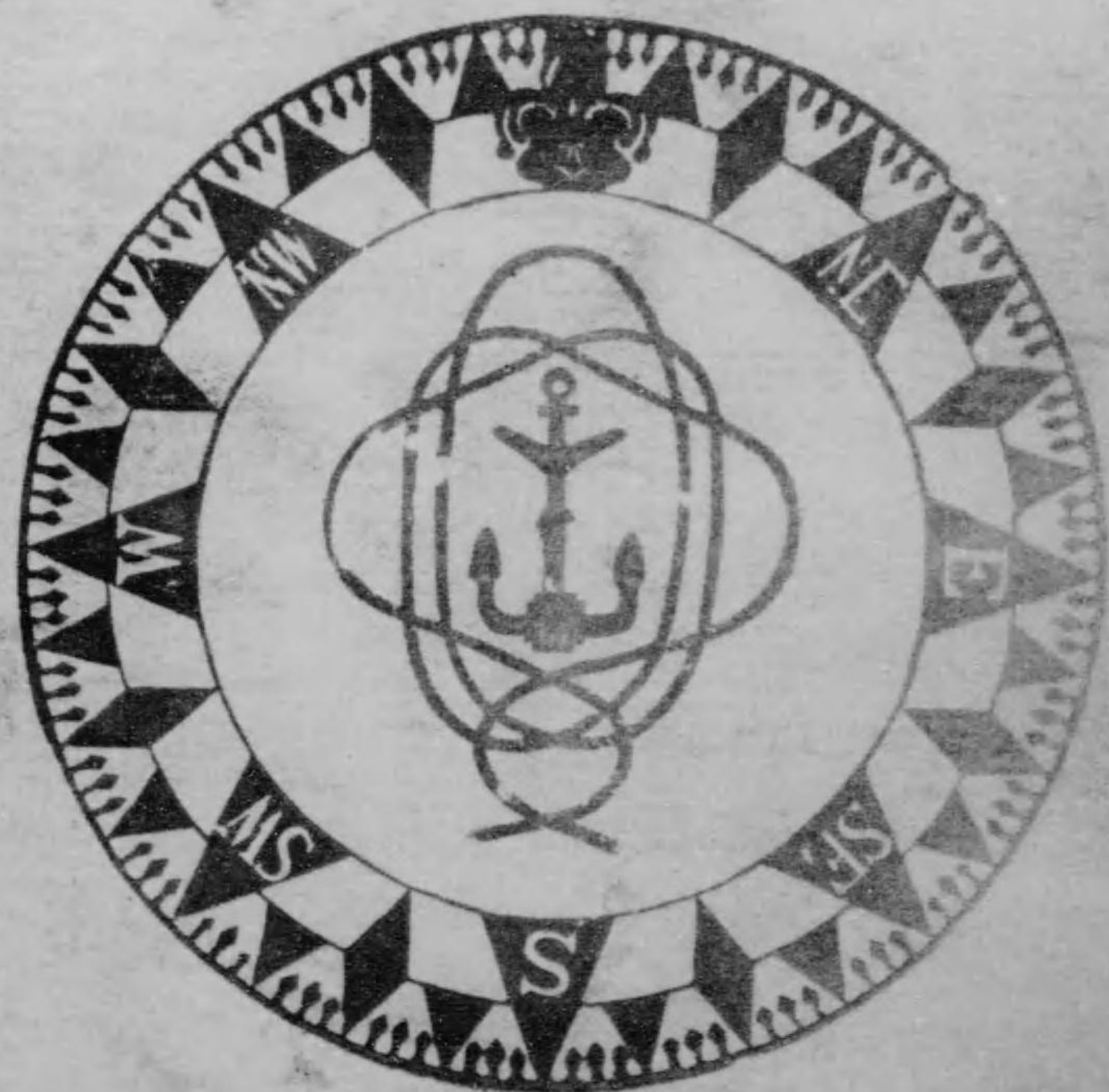


衝突豫防法

特201

651

講義問答



大 阪
中 山 海 士 學 館
藏 版



始



特201
651

海士學館編纂

海上衝突豫防法講義

中山海士學館圖書部

大正
14. 4. 24
內交

中山新士學堂圖書部

海上衝突豫防法講義

新士學堂圖書部



海上衝突豫防法講義

目次

● 總則	一
● 船燈	三
● 霧中信號	四〇
● 霧中速力	四六
● 航路信號	四七
● 航路信號	六一
● 懈怠ノ責	六二
● 特例	六三
● 難船信號	六四
● 附則	六七

◆海上衝突豫防法問答目次

○本法ノ性質及ビ實施……………	一	○運轉自由ヲ得ザル船ノ表示……………	三三
○適用ノ範圍……………	一	○海底電信工事ニ從事スル船舶ノ表示……………	三五
○本法ノ効力……………	二	○船燈識別……………	三八
○船舶ノ區別……………	三	○霧中信號……………	四〇
○航行ノ定義……………	四	○航方……………	四六
○船燈……………	五	○霧中兩帆船ノ出會……………	四八
○碇泊ノ船燈……………	一〇	○霧中帆船ト汽船ノ出會……………	七一
○帆船航行中ノ船燈……………	一四	○帆船前面ニ方ル雜信號……………	七三
○汽船航行中ノ船燈……………	二〇	○難船信號……………	七五
○曳船航行中ノ船燈……………	二三	○霧中信號ニ對スル汽船ノ措置……………	七六
○四十噸未満ノ小汽船航行中ノ船燈……………	二五	○航方ノ適用……………	八四
○水先船ノ船燈……………	二六	○兩帆船ノ出會……………	八六
○漁船ノ燈火……………	二六	○汽船ノ出會……………	一〇三
		○雜問……………	一二六

◆海上衝突豫防法

總則

本法ハ海洋ト海峽ニ於ケル船舶ニ適用ス
 ノ通航シ得ヘキ水上ニ於ケル船舶ニ適用ス
 本法中汽船ト雖モ帆ヲ以テ運轉シ汽力ヲ用キサルト
 キハ帆船ト看做シ汽力ヲ用ウルトキハ帆ヲ用フルト
 用キサルト別ナク汽船ト看做スベシ
 本法中汽船トハ凡ソ機關ノ作用ニ因テ運轉スル船舶
 ヲ謂フ

【註】此規則ニテ汽船ト云フトキハ其方法ノ如何ニ拘ラズ機
關ノ作用ニテ動ク船ナラバ悉ク汽船ト看做スト云フ意ナリ
本法中船舶航行中トハ碇泊若クハ繫留又ハ坐礁膠沙
ニアラサル場合ヲ謂フ

【註】此規則ニテ船舶ガ航行中ト云フトキハ錨ヲ卸シテ碇泊
シ綱ヲ杭或ハ石杯ニ取リテ繋ギタリ又ハ暗礁ニ乗揚ゲ淺瀬
ニ艘リ居ラヌ時ヲ指スモノナリ單ニ本文ヲ讀メバ碇泊繫留
坐礁膠沙ノ場合ニアラザル外ハ凡テ航行中ト云フモノ、如
ク見ラレ沙濱ニ建船ヲナシ又ハ上架修繕ノ船モ航行中ト云
フカノ疑ヒ起リ本文盡サル、所アルガ如キ觀アレ共總則第
一項ノ明文ニ水上ニ於ケル船舶ニ適用ストノ規定ナル故此
項ノ明文ハ碇泊繫留坐礁膠沙ニアラズシテ水上ニアルト見

レバ穩當ナルベシ

船燈

【註】船燈トハ本法ノ規定ニ遵ヒ夜間標示スベキ燈ノコトニ
シテ本邦ニテハ船燈信號器救命具取締規則ニ合格ノモノヲ
意味ス

- 甲種舷燈ハ海上衝突豫防法第二條第二號及第三號
- 甲種檣燈ハ同條第一號
- 乙種舷燈ハ同法第七條第一號乙前段
- 乙種檣燈ハ同號甲
- 甲種兩色燈ハ同號乙後段
- 乙種兩色燈ハ同條第三號ニ掲グルモノヲ云フ

本法中船燈ニ關シテ見得ルトハ晴天ノ暗夜ニ於テ認
メ得ルヲ謂フ

【註】此規則ニテ船燈ガ何海里ノ距離ヨリ見得ルトアルハ晴天ノ暗夜ニ健全ナル尋常ノ肉眼ニテ見得ベキ程度ヲ云ヒタルモノナリ

第一條 船燈ニ關スル規定ハ天氣ノ如何ニ關セス日没ヨリ日出マテ必ス遵守スベシ此ノ時間中ハ本法ニ定メタル船燈ノ外之ニ紛レ易キ燈ヲ掲クヘカラ

第二條 汽船ハ航行中必ス左ノ燈ヲ掲クヘシ
一 前檣若ハ其前面ニ於テ又ハ前檣ヲ具ヘサルトキハ本船ノ前方ニ於テ船體上二十尺ヨリ低カラサル所ニ若船幅二十尺ヲ超ユルトキハ其船幅ヨリ

低カラサル所ニ亮明ノ白燈一個ヲ掲クヘシ然レトモ船體上四十尺以上ノ所ニ掲クルヲ要セス此燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ發シテ鍼盤ノ二十點間ヲ照スヘク製造シ其射光ヲ左右舷外へ十點間ツ、即チ船ノ正首ヨリ各舷正横後ノ二點マテ及フヘキ様裝置シ且少クモ五海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノヲ用ウヘシ

【註】船體上トハ前方ニ於ケル船體上ニシテ船首樓(フオックル)ス)ヨリノ高サヲ意味ス

二 右舷ニ綠燈ヲ掲クヘシ此燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ發シテ鍼盤ノ十點間ヲ照スヘク製造シ其射光ヲ

〔六〕
船ノ正首ヨリ右舷正横後ノ二點マテ及ブベキ様
装置シ且ツ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモ
ノヲ用ウヘシ

三 左舷ニ紅燈ヲ掲クヘシ此燈ハ常ニ不同ナキ光ヲ
發シテ鍼盤ノ十點間ヲ照スヘク製造シ其射光ヲ
船ノ正首ヨリ左舷正横後ノ二點マテ及フヘキ様
装置シ且少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノ
ヲ用ウヘシ

四 本條第二項第三項ノ舷燈ニハ其燈ヨリ前ニ少ク
モ三尺突出シタル隔板ヲ其燈ノ内側ニ装置シ右
舷ノ綠光ハ左舷ニアル船ヨリ左舷ノ紅燈ハ右舷

ニアル船ヨリ見得サル様ニナスヘシ

〔註〕此項ハ船ノ左右舷側ニ表示スル燈ヲ据附クベキ隔板ノ
定メナリ其隔板ハ船舶検査規程第六十六條ニ依リ燈火ヨリ
前方へ三尺以上突出シタル屏風様ノ圍井板ニテ舷燈ノ射光
ヲ界限シテ右舷ノ綠光ハ左舷ニアル船ニ見エズ又左舷ノ紅
光ハ右舷ニアル船ニ見エザル様ニ之ヲ兩舷側ニ取附テ其レ
ニ舷燈ヲ据附ケ標示スルナリ

船舶検査規程第六十六條

舷燈ノ隔板ハ左ノ規程ニ從ヒ燈心ヨリ三尺以上前方ニ突出スヘキ長サニ
作り之レヲ船舷若ハ其他ノ固定物ニ取附クヘシ
一、 隔板ノ縱線ハ船ノ首尾線ニ並行ナルコトヲ要ス
二、 隔板ニ隔障ヲ取附クルトキハ隔障ノ外端ヨリ透鏡ノ前部ノ内縁ヲ貫
キ燈心又ハ電燈ノ燈線ノ内端ニ引キタル線ハ船首尾線ニ並行ナルコ
トヲ要ス

燈塔内ニ舷燈ヲ點スルトキハ船舶検査規程第六十七條ニヨ

五汽船航行中ハ本條第一項ニ規定シタル白燈ノ外

ニ同種ノ白燈一箇ヲ増掲スルヲ得但シ此場合ニ

於テハ其兩燈ヲ龍骨線上前後ニ隔テ其前燈ヲ後

燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ掲ケ其前後ノ距離ハ

上下ノ距離ヨリモ多キヲ要ス

【註】汽船航行中船首ノ變轉ヲ早ク他船ニ目立たス爲メ本條

第一項ニ定メタル白燈ト同ジ白燈一個ヲ増掲スルハ差支ナ

シ併シ若シ其レヲ掲グルナレバ一項ノ規定ニ遵テ掲ゲアル

橋燈ノ上カ下カニ十五尺以上離シテ船ノ首尾線上ニ於テ上

下ノ間隔ヨリモ多ク前後ニ離シテ標示スベキナリ換言スレ

バ兩燈ヲ龍骨線上ニ於テ直達ニ相對シ前燈ハ後燈ヨリモ十

五尺以上低ク前後ノ間隔ハ上下ノ間隔ヨリ多クナシ置クベ
キナリ

第三條 汽船他船ヲ引キテ航行スルトキハ兩舷燈ヲ

掲クルノ外ニ白燈二個ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ

連掲スヘシ此白燈ハ第二條第一項ノ白燈ト同一ノ

構造ニシテ且同一ノ場所ニ掲クルヲ要ス然レトモ

二艘以上ヲ引キテ航行スルトキハ其引キタル船ノ

船尾ト最後ニ引カル、船ノ船尾トノ距離六百尺以

上ノ場合ニ於テハ右二個ノ白燈ヨリ上方若ハ下方

六尺ノ所ニ尙同種ノ白燈一個ヲ増掲スヘシ

【註】此條ハ曳船汽船ノ表示スル燈火ノ規定ニテ白燈ヲ増掲

シテ獨走汽船ト區別スル規定ナリ舷側ニ添フテ他船ヲ曳ク
場合ハ本法ニ規定シアラザルユエ此ノ場合ニハ本條規定ノ
燈ヲ掲グルヨリ外ナカルベシ

本條ノ引船ハ引カル、船舶ノ操舵目標トシテ烟突若
ハ後檣ノ後面ヘ小形ノ白燈一箇ヲ掲クルヲ得但シ此
白燈ハ本船正横ヨリ前面ニ見得サル様ニ爲スヲ要ス
第四條 事變ノ爲運轉自由ヲ得サル船舶ハ夜間ニア
リテハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ト同一ノ高
サニ於テ最モ見得易キ所ニ(汽船ナレハ其ノ白燈ノ
代リニ)二箇ノ紅燈ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲
スヘシ此紅燈ハ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得

ヘキモノタルヲ要ス又晝間ニアリテハ最モ見得易
キ所ニ直徑二尺ノ黑球若ハ黑色ノ形象二個ヲ上下
ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲スヘシ

【註】本條ハ出來事ノ爲メ運轉自由ナラズ他船ト接近スルモ
此規則ニ遵ヒ航路ヲ避クル事ノ出來ヌ船ガ標示スル信號ノ
定メナリ

海底電信線ノ布設又ハ引揚ニ從事スル船舶ハ夜間ニ
アリテハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ノ位置ニ於
テ(汽船ナレハ其白燈ノ代リニ)三個ノ燈ヲ上下ニ少ク
モ六尺ツ、ヲ隔テ連掲スヘシ但シ此ノ燈三個ノ内上
下ノ二個ハ紅色中央ノ一個ハ白色ニシテ周回少クモ

二海里ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス又晝間ニ
アリテハ最モ見得易キ所ニ直徑二尺以上ノ形象三個
ヲ上下ニ少クモ六尺ツ、チ隔テ連掲シ其上下ノ二個
ハ紅色球形ヲ用キ中央ノ一個ハ白色豎菱形ヲ用ウヘ
シ

【註】此ノ項ハ海底ノ電信索引揚ゲ又ハ布設ニ從事シ居ル船
ガ標示スベキ信號ノ定メナリ

本條ノ船舶全ク運行セサルトキハ舷燈ヲ掲クヘカラ
ス然レトモ運行スルトキハ必ス之ヲ掲クヘシ

【註】此項ハ運轉自由ヲ得ズ又ハ海底電信布設若ハ引揚ニ從
事シ居ル船舶全ク動カシ居ラヌトキハ舷燈ヲ掲グルニ及バザ
レドモ少シタリトモ動クトキハ必ズ舷燈ヲ掲ゲ置ネバナラ

又爰ニ運行ト云フハ推進器又ハ他ノ手段ニヨリ動カシ居ル
場合ニテ潮流ヤ風ナドニ押シ流レ居ル場合ヲ云フモノニア
ラズ

本條規定ノ燈及形象ハ運轉自由ヲ得スシテ他船ノ航
路ヲ避クル能ハサルノ信號ト認ムヘシ

【註】此條ニ定メタル信號ハ運轉自由ナラス爲メ規則ニ遵ヒ
他船ノ航路ヲ避ケ替ス事ガ出來ヌト云フ事ヲ他船ニ知ラセ
ル合圖ナリ

本條ノ信號ハ難船信號ト混同スヘカラス難船信號
ハ第三十一條ニ於テ之ヲ規定ス

【註】此條ノ信號ハ救助ヲ求ムル難船信號トハ全ク別物デア
ル難船信號ハ本法第三十一條ニ定メテアルニヨリ混同シテ

ハナラスト云フ意ナリ

第五條

航行中ノ帆船及他船ニ引カレテ運行スル船

ハ第二條第二項第三項ノ舷燈ノミヲ掲クヘシ決

シテ同條第一項ノ白燈ヲ掲クヘカラス

【註】獨走スル帆船ト他船ニ曳カル、凡テノ船(汽船デモ帆船デモ)ハ皆一樣ニ舷燈ノミヲ掲ゲテ他ノ燈ヲ掲テハナラス

第六條

小形船航行中天氣ノ模様ニ因リ綠紅ノ二舷

燈ヲ掲置キ難キトキハ何時ニテモ使用シ得ベキ様

點火シテ之ヲ手近カニ備ヘ置キ他船ノ我船ニ近寄

リ來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄行クトキハ衝突ヲ

防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ其舷燈ヲ他船ヨリ
最モ見得易キ様各舷ニ表示スヘシ但シ此ノ時綠光
ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得ス且ツ成ルベク各
舷正横後ノ二點ヨリ後方ヘ見得サル様ニ爲スヲ要
ス

【註】此條ハ小形ノ船時化高浪ノトキ杯兩舷燈ヲ舷外ニ標示
シテ置カレヌ場合アルベシ然ル時ハ其舷燈ニ火ヲ點シテ手
近ニ構ヘ置キ他船ガ我船ニ近寄來ルカ我船ガ他船ニ近寄リ
行クトキハ衝突ヲ防グニ充分ナル間合ヲ見計ラヒ他船ニ能
ク見ユル様ニ差出シテ見スルナリ此時右舷ノ綠光ハ左舷ニ
左舷ノ紅光ハ右舷ニ見得ス様又正横後二點以後ニモ見ヘザ
ル様ニ注意スベキナリ

此綠色紅ノ各燈ヲ間違ヒナク容易ニ取扱フ爲メ綠燈ハ綠色紅燈ハ紅色ニテ外面ヲ塗り且ツ適當ノ隔板ヲ備置クヘシ

第七條 總積量四十噸未満ノ汽船總積量二十噸未満ノ帆船及擄權ヲ以テ運轉スル船航行中ハ必スシモ第二條第一項第二項第三項ニ規定シタル燈ヲ掲クルヲ要セス然レトモ若シ之ヲ掲ケサルトキハ必ス左ノ規定ニ依ルヘシ

一 四十噸未満ノ汽船
甲 船ノ前部又ハ煙突若ハ其前面ニ於テ舷縁上九尺ヨリ低カラス且最モ見得易キ所ニ第二條

第一項ニ規定シタル構造裝置ニシテ少クモ二海離ノ距里ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲クヘシ

乙 第二條第二項第三項ニ規定シタル構造裝置

ニシテ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ綠紅ノ二舷燈ヲ掲クルカ又ハ船首ヨリ各舷正横後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及スヘク製造シタル両色燈一個ヲ掲クヘシ但シ此ノ燈ハ白燈ヨリ少クモ三尺下方ニ掲クルヲ要ス

二 汽艇ハ第一項甲ノ白燈ヲ舷縁上九尺ノ所ヨリ下方ニ掲クルヲ得然レトモ其白燈ハ乙ノ両色燈

ヨリ高キヲ要ス

【註】此項ハ「ステーム、ランチ」「ステーム、ボート」「モーター、ボート」等ノ船燈ヲ定メタルモノナリ左様ナル汽船ニテハ橋ナドヲ備ヘザル爲メ第一項ニ遵ヒ白燈ヲ九尺以上ニ掲クルコトノ出來スモノ往々アルベシ夫等ノ小船ニテハ九尺以下ノ所ニ掲グルモ差支ナシ併シ其白燈ハ乙號ノ兩色燈ヨリ高クナシ置クベシ

三 二十噸未滿ノ帆船ハ帆ヲ用ウルト擣權ヲ用ウルトニ拘ハラス一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用キタル燈籠一個ヲ手近カニ備置キ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ之ヲ

表示スヘシ但シ此ノ時綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

四 擣權ヲ以テ運轉スル船ハ擣權ヲ用ウルト帆ヲ用ウルトニ拘ラス白色ノ燈籠一個ヲ手近ニ備置キ衝突ヲ防クニ充分ナル時間ヲ見定メテ臨時之ヲ表示スヘシ

本條ノ諸船ハ第四條第一項及第十一條末項ノ燈ヲ掲クルニ及ハス

【註】第七條ノ各項ニ掲ゲタル小形ノ船デハ大船ノ通行スル航路最寄ニ乗揚グルコトモナカロウ又運轉自由ヲ得ザル標示ヲ掲グルコトノ出來ナイモノモアルカラ敢テ掲グルニ及

バスト云フ意ナリ然シ掲グルコトガ出来得ルナラバ掲グル
ハ一向差支ナキ譯デアルト云フコトナリ

第八條

水先船水先業務ノ爲メ其ノ營業所ニアルト
キハ他船ニ要スル燈ヲ表示セス周回ヨリ見得ヘキ
白燈一個ヲ檣頭ニ掲ケ且十五分時ヲ超エサル短時
ノ間隙ヲ以テ閃火一個若ハ數個ヲ發スヘシ
水先船ニハ點火シタル舷燈ヲ用意シ置キ他船ノ我
船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クト
キハ我船ノ進行スル方向ヲ示ス爲メ短時ノ間隙ヲ
以テ之ヲ表示スヘシ但シ此ノ時綠光ハ左舷ヨリ紅
光ハ右舷ヨリ見得サル様ニ爲スヲ要ス

水先人ヲ要招スル船舶ヘ直付ケスヘキ水先船ハ白
燈ヲ檣頭ニ掲クル代リニ隨時之ヲ表示シ又前項ノ
舷燈ノ代リニ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用キ
タル燈籠一個ヲ手近カニ備置キ前項ノ規定ニ依リ
之ヲ使用スルヲ得

【註】水先人ヲ求ムル船ヘ水先人ヲ送り着クル小船ハ白燈ヲ
檣ノ上ニ表示シ置カズニ適宜ニ顯シテ見スレバヨシ又舷燈
ノ代リニ一方ハ綠色一方ハ紅色ノ玻璃ヲ張りタル燈籠一ツ
ヲ手近ニ構ヘ置キ他船ガ我船ニ近寄來ルカ又自分ノ船ガ他
船ニ近ヅタトキハ之レヲ表シテ見スベシトノ意ナリ

免許水先人ノ業務ニ專用スル水先瀛船水先業務ノ

爲メ其營業所ニアリテ碇泊セサルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ檣頭ノ下方八尺ノ所ニ周回少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ヘキ紅燈一個ヲ増掲シ且航行中ノ船舶ニ要スル燈ヲ掲クヘシ

【註】免許水先人ノ使用スル蒸汽船ハ水先區域内ニ在リテ碇泊シ居ラザルトキハ前項ニ定メタル白燈ト閃火ノ外ニ檣頭ノ八尺下ニ二海里四方ヨリ見得ベキ紅燈一個ヲ増シテ點ジ置キ其上航行中ノ燈ヲ掲ゲ置ケトノ意ナリ
本邦ノ免許水先人トハ水先法ニ規定セル水先免狀ヲ有シ水先組合ニ加入セルモノヲ云フ

前項ノ水先汽船水先業務ノ爲メ其營業所ニアリテ

碇泊スルトキハ第一項ノ規定ニ依リ水先船ニ要スル燈及閃火ノ外ニ前項ノ規定ニヨリ紅燈ヲ増掲スヘシ但シ舷燈ヲ掲クヘカラス

【註】水先汽船區域内ニ在リ碇泊シ居ルトキハ第一項ノ定メニヨリ白燈ト閃火ヲ表ス外前項ノ定メニヨリ尙紅燈ヲ増掲シ置クベシ但碇泊ノ場合故舷燈ヲ點シテハナラヌト云フ
意ナリ

水先船其營業所ニアルモ水先業務ニ從事セサルトキハ其ノ積量ニ相當スル他船ト同様ノ燈ヲ掲クヘシ

【註】水先船直付水先船並ニ水先汽船トハ本船ノ先頭ヲ走リ

テ其案内ヲナスモノニアラズ水先人ハ本船ニ乗移リ其船ヲ
自ラ指揮運航スル人ニシテ其水先人ヲ乗セ要招ヲ待チ居ル
各種ノ船舶ヲ云フモノナリ

第九條

漁船ハ航行中特ニ本條ニ規定アル場合ヲ除
ク外其積量ニ相當スル航行中ノ船舶ニ對シテ規定
シタル燈ヲ掲クルカ又ハ之ヲ表示スヘシ

前條ノ水先汽船ノ項及此第九條ハ明治三十九年四月法律第
四十四條ニテ加入シラレタルナリ

一 無甲板船即チ全部張詰メタル甲板ニ因リテ海

水ノ浸入ヲ防カサル船夜間漁業ニ従事スルニ當
リ其放出スル漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離

カ百五十尺以内ナルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白
燈一個ヲ掲クヘシ

無甲板船夜間漁業ニ従事スルニ當リ其放出スル
漁具ノ端ト本船トノ水平上ノ距離カ百五十尺ヲ

超ユルトキハ周回ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲ケ
且我船ノ他船ニ近寄り行クトキ又ハ他船ノ我船

ニ近寄り來ルトキハ其ノ白燈ノ下方ニ少クモ三
尺ヲ隔テ且漁具ノ結著シタル方向ニ於テ水平上

二 第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外流シ網ヲ
用キテ漁業ニ従事スル船舶ハ網ノ全部又ハ一部

水中ニ投下シタル間ハ最モ見得易キ所ニ白燈二
 個ヲ掲クヘシ此ノ兩燈ハ上下ノ距離六尺ヨリ少
 カラス十五尺ヨリ多カラス且龍骨線ニテ測リタ
 ル前後ノ距離五尺ヨリ少カラス十尺ヨリ多カラ
 サル様其一燈ヲ他燈ノ下方ニ裝置シ其下燈ハ網
 ノ方向ニ掲クヘシ此ノ兩燈ハ周回少クモ三海里
 ノ距離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス
 總積量二十噸未滿ノ帆走漁船ハ地中海及日本國
 並韓國ノ沿海ニ於テハ心スシモ兩燈中其ノ下燈
 ヲ掲クルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ
 他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近

寄り行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ
 白燈一個ヲ同一ノ位置(網)又ハ漁具ノ方向ニ於テ
 ニ表示スヘシ

三

第一ニ規定シタル無甲板船ヲ除ク外延繩ヲ用
 キテ漁業ニ従事スルニ當リ延繩ヲ結著シ又ハ之
 ヲ曳入ル、船舶ニシテ碇泊セス又ハ第八ニ依リ
 停留セサルモノハ流シ網ヲ用キテ漁業ニ従事ス
 ル船舶ト同一ノ燈ヲ掲クヘシ其ノ延繩ヲ延ヘ又
 ハ曳繩ヲ用ウルモノハ其ノ船ノ種類ニ應シ航行
 中ノ汽船又ハ帆船ニ對シテ規定シタル燈ヲ掲ク
 ヘシ

總積量二十噸未滿ノ帆走漁船ハ地中海及日本國並韓國ノ沿海ニ於テハ必スシモ兩燈中其ノ下燈ヲ掲クルヲ要セス然レトモ之ヲ掲ケサルトキハ他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船ニ近寄り行クトキ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ同一ノ位置(釣繩ノ方向ニ於テ)ニ表示ヘシス

四

打タセ網(總テ海底ニ漁具ヲ曳クモノヲ包含ス)ヲ用キテ漁業ニ従事スル船舶ハ左ノ規定ニ依ルヘシ

甲 汽船ハ第二條第一項ニ規定シタル白燈ノ位

置ニ三色ノ燈籠一個ヲ掲ケ尙其下方六尺ヨリ少カラス十二尺ヨリ多カラサル所ニ白色ノ燈籠一個ヲ増掲スヘシ此ノ三色燈ハ船ノ正首ヨリ左右各二點マテハ白色其レヨリ各舷正横後ノ二點マテ右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ射光ヲ及スヘク製造シ且裝置スルヲ要シ又白燈ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘク製造シタルモノタルヲ要ス

乙

帆船ハ常ニ不同ナク亮明ノ光ヲ發シテ周回ヲ照スヘク製造シタル白色ノ燈籠一個ヲ掲ケ且他船ノ我船ニ近寄り來ルカ又ハ我船ノ他船

二 近寄リ行クトキハ衝突ヲ防クニ充分ナル時
間ヲ見定メ最モ見得易キ所ニ白色ノ閃火又ハ
炬火一個ヲ表示スヘシ

甲及乙ニ規定シタル諸燈ハ少クモ二海里ノ距
離ヨリ見得ヘキモノタルヲ要ス

五

桁網ヲ用キテ牡蠣採取ニ従事スル船舶其他桁
網ヲ用井テ漁業ニ従事スル船舶ハ打タセ網ヲ用
キテ漁業ニ従事スル船舶ト同一ノ燈ヲ掲ケ及之
ヲ表示スヘシ

六

漁船ハ本條ニ規定シタル燈ヲ掲ケ及之ヲ表示
スル外何時ニテモ閃火ヲ用キ且漁業用ノ燈火ヲ

用ウルヲ得

七

一 長サ百五十尺未満ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ
一海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲ケヘシ
長サ百五十尺以上ノ漁船碇泊中ハ周回少クモ一
海里ノ距離ヨリ見得ヘキ白燈一個ヲ掲ケ且第十

一條ニ規定シタル白燈一個ヲ増掲スヘシ
長サ百五十尺未満ナルト百五十尺以上ナルトヲ

問ハス碇泊中ノ漁船漁網其他ノ漁具ヲ結著シタ
ルトキハ他船ノ我船ニ近寄リ來ルトキ碇泊燈ノ

下方少クモ三尺ヲ隔テ且漁網其ノ他ノ漁具ノ方
向ニ於テ水平上少クモ五尺ヲ隔テ白燈一個ヲ増

表スヘシ

八

漁船漁業ニ從事中漁具ノ岩礁其ノ他障礙物ニ
纏著シタル爲メ停留スルトキハ晝間ニアリテハ
第十二規定スル晝間信號ヲ引下シ夜間ニアリテ
ハ碇泊船ト同一ノ燈ヲ表示シ又霧中降雪其他暴
雨中ハ碇泊船ニ對シテ規定シタル霧中信號ヲ爲
スヘシ(第十五條第四項及末項參照)

九

霧中降雪其他暴雨中流シ網打タセ網桁網又ハ
延繩ヲ用キテ漁業ニ從事スル總積量二十噸以上
ノ船舶ハ汽船ニアリテハ汽笛若ハ汽角帆船ニア
リテハ號角ヲ用キ一分時ヨリ多カサル間隙ヲ以

テ一聲ヲ發シ之ニ續キテ號鐘ヲ鳴ラスヘシ總積
量二十噸末滿ノ漁船ハ必スシモ此信號ヲ爲スヲ
要セス然レトモ之ヲ爲サルトキハ一分時ヨリ
多カラサル間隙ヲ以テ適宜他ノ有効ナル音響信
號ヲナスヘシ

十

網延繩又ハ打タセ網ヲ用キテ漁業ニ從事スル
船舶航行中晝間ニアリテハ最モ見得易キ所ニ籃
其他ノ信號ヲ掲ケ近寄り來ル他船ニ其漁業中ナ
ルコトヲ表示スヘシ若シ碇泊中ノ船舶漁具ヲ投
下セルトキハ他船ノ近寄り來ルトキ同様ノ信號
ヲ他船ノ航過シ得ル舷側ニ於テ表示スヘシ

本條ニ依リ特ニ規定シタル燈ヲ掲ケ又之ヲ表示スルヲ要スル船舶ハ第四條第一項及第十一條末項ノ燈ヲ掲クルニ及ハス

(三四)

【註】本條ハ法文複雑ナル故概摘ヲ示ス

- 一 無甲板船ニシテ放出漁具百五十尺以内 白燈一個 同百五十尺以上白燈二個(内一個ハ漁具アル方へ前後ハ五尺以上上下ハ三尺以上隔テテ下方ニ隨時表示ス)
- 二 流シ網白燈二個(三漚)前後ハ五尺ヨリ十尺上下ハ六尺ヨリ十五尺下燈ヲ網ノ方向へ掲グ地中海(歐洲)日本及朝鮮ノ沿海ニアル二十噸未満ノ帆走漁船ハ之ノ下燈ヲ必要ノ場合一漚ノモノヲ右ノ位置ニ隨時表示シテヨシ
- 三 延繩ヲ用ヒ碇泊停留セズシテ結著又ハ曳入ル船ハ凡テ

- 前ニ同ジ
延繩ヲ延べ曳網ヲ用フルトキハ其船ノ種類ニ應ジ航行中ノ普通船ヲ用フル航海燈ヲ掲グベシ
- 四 甲 打タセ網ノ汽船(トロール船)三色燈及其の下六尺ヨリ十二尺ニ白燈(何レモ二漚)
乙 同帆船白燈(二漚)一個必要ノ場合ニ閃火又ハ炬火ヲ隨時表示ス
- 五 桁網 凡テ前ニ同ジ
- 六 以上ノ燈ノ外閃火又ハ漁業用ノ燈ヲ用ヒ得ル規定
- 七 碇泊中ノ漁船 凡テ第十一條ノ規定ニ同ジ但シ碇泊中漁具ヲ結著スルトキハ碇泊燈ノ下方三尺ノ處へ前後五尺ヲ隔テテ白燈一箇ヲ増表スル規定
- 八 漁具ヲ引掛ケオルトキ(晝間ハ籃ヲ引卸シ夜間ハ碇泊燈

霧中ハ號鐘

九 霧中漁業中ブーガンノ汽船ハ汽笛汽角帆船ハ號角

十 晝間信號籃其他ノ表示航行中ハ他船ニ見得易キ處へ碇

泊中ハ他船ノ航過シ得ル舷方ニ

本條ノ船舶ハ本條ニ規定アル外其積量ニ相當スル燈ヲ掲グ

ベシ然シ運轉自由ナラザル燈並ニ表示乗掲船ノ燈ハ掲グル

ニ及バス

第十條

他船ニ追越サレントスル船舶ハ他船ニ向テ

船尾ヨリ白燈ヲ表示シ又ハ閃火ヲ發スヘシ

本條ニ從テ表示スヘキ白燈ハ豫メ船尾ニ掲置クヲ

得然レドモ此燈ハ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘ

キモノニシテ常ニ不同ナキ亮明ノ光ヲ發シ鍼盤ノ

十二點間ヲ照スヘク製造シ船ノ正後ヨリ左右へ六

點間宛射光ノ及フヘキ様隔板ヲ裝置シ成ルヘク舷

燈ト同一ノ高サニ掲クヘシ

第十一條

長サ百五十尺未満ノ船舶碇泊中ハ前方ノ

最モ見得易クシテ船体上ヨリ二十尺ヲ超エサル所

ニ白燈一個ヲ掲クヘシ此燈ハ常ニ不同ナキ亮明ノ

光ヲ發シ周回少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ヘキモ

ノタルヲ要ス

長サ百五十尺以上ノ船舶碇泊中ハ前方ノ最モ見得

易クシテ船体上二十尺以上四十尺以下ノ所ニ前項

ノ白燈一箇ヲ掲ケ且船尾若ハ其最寄ニ於テ前方ノ

燈ヨリ少クモ十五尺下方ニ同種ノ白燈一個ヲ掲ク

ヘシ
本條船舶ノ長サハ本船船籍證書面ノ長サニ依ルヘシ

【註】前項ノ長サ百五十尺内外ハ船籍證書(國籍證書)ノ記載ニヨリ區別ス

船路若ハ其最寄ニ於テ乗掲ケタル船舶ハ本條白燈ノ外尙第四條第一項ニ規定シタル紅燈二個ヲ掲クヘシ

【註】乗掲船ノ晝間信號トシテ黒球ヲ掲示シオル船ヲ見受ケレドソレハ本法ニ規定シアラザル故掲ゲシトテ違法ニハナラザルベシ

第十二條 各船他船ノ注意ヲ喚起スル爲必要ナリト

スルトキハ本法ニ規定シタル船燈ノ外尙閃火ヲ發シ或ハ難船信號ト混同セサル爆裂信號ヲ發スルヲ得

【註】爆裂信號トハ爆音ヲ發スル信號ノ意ナレドモ商船ニテハ備付ノ音響器ニテ適宜ノ發聲ヲナシテ喚起信號ヲナシ居ルヲ常トス

第十三條 本法船燈ノ規定ハ二艘以上ノ軍艦又ハ軍

艦ニ護送セラル、船舶ニ増掲スル列位燈及信號燈ニ關シ各國政府ニ於テ特ニ制定シタル規則ノ施行ヲ妨ケス又船舶所有主ニ於テ其國政府ノ許可ヲ受

ケ登簿公告ノ手續ヲ經テ私用スル識別信號ノ使用ヲ妨ケス

(四〇)

第十四條 汽船晝間ニ帆ノミヲ以テ運轉スルモ其煙突ヲ引下ケサルトキハ前方ノ最モ見得易キ處ニ直徑二尺ノ黑球若ハ黑色形象一個ヲ掲クヘシ

霧 中 信 號

【註】霧、雨、雪等ノ爲メ暗クテ少シモ見エヌトキノ合圖ノ仕方ナリ

第十五條 航行中ノ船舶ニ關シ本條ニ規定シタル信號ヲ爲スニハ左ノ信號器ヲ用ウヘシ

汽船ハ汽笛若クハ汽角

【註】蒸汽船霧中航行中ハ船舶検査規定第六十八條ニ從ヒ裝置シタル汽笛若ハ汽角ヲ用フベシ

船舶検査規定第六十八條
汽船及機關ヲ有スル帆船ハ煙筒ノ前面ニ於テ音響ノ妨ナキ適當ノ高サニ汽笛若ハ汽角ヲ裝置スベシ

帆船及他船ニ引カレテ運行スル船舶ハ霧中號角

【註】航行中ノ帆船ト他船ニ引カレテ運行スル船舶トハ船燈信號器救命具試驗檢定期程ニ合格セル霧中號角ヲ用ウベシ

本條中長聲トハ四秒乃至六秒時間ノ發聲ヲ謂フ
汽船ハ汽力其他之ニ代用スヘキモノニ因リ發聲ス

(四一)

ル適當ノ汽笛若クハ汽角ヲ音響ノ妨害物ナキ所ニ
 裝置シ且號鐘及機關ノ作用ニ因リ發聲スル適當ノ
 霧中號角ヲ備フヘシ又總積量二十噸以上ノ帆船ハ
 汽船同様ノ號鐘及霧中號角ヲ備フヘシ
 霧中降雪其ノ他暴雨中ハ晝夜ノ別ナク左ノ各項ニ
 規定シタル信號ヲ爲スヘシ

一 汽船航行中ハ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以
 テ長聲ヲ一發スヘシ

二 汽船航行中運轉ヲ止メテ速力ヲ有タサルトキ
 ハ二分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ長聲ヲ二發
 スヘシ但其二發ノ間隙ハ大約一秒時タルヲ要ス

三 帆船航行中ハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以
 テ右舷開ナレハ一聲ヲ發シ左舷開ナレハ二聲ヲ
 連發シ船ノ正横後ニ風ヲ受ケタルトキハ三聲ヲ
 連發スヘシ

四 船舶碇泊中ハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以
 テ大約五秒時間劇シク號鐘ヲ鳴ラスヘシ

五 他船ヲ引キテ運航スル船舶海底電信線ノ布設
 若ハ引揚ニ從事スル船舶及航行中運轉自由ヲ得
 スシテ近寄り來ル他船ノ航路ヲ避ケ能ハサルカ
 又ハ本法ニ遵テ運轉シ能ハサル船舶ハ本條第一
 項及ヒ第三項ニ規定シタル信號ノ代リニ二分時

ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ三聲ヲ連發シ即チ長聲ヲ一發シタル後直ニ短聲ヲ二發スヘシ又他船ニ引カレテ運航スル船舶モ此信號ヲナスハ妨ナシト雖他ノ信號ヲ爲スヘカラス

(四四)

【註】此項ハ他船ヲ曳キテ航行スル船海底電線布設又ハ引揚ゲニ從事シ居ル船運轉自由ナラヌ船又ハ本條ノ規定通りニ運轉ノ出來ヌ船ノ信號ヲ定メタルモノナリ而シテ其信號ノ仕方ハ皆一樣ニ汽船ナレバ汽笛若クハ汽角帆船ナレバ霧中號角ヲ以テ二分時ヨリ多カラヌ間合ニ長短短ノ三聲ヲ連發スベキナリ長短々々ノ三聲トハ四秒乃至六秒ノ長聲ヲ鳴ラシタラバ大約一秒位ノ間ヲ隔テ短キ聲ヲ二度ツバケテ鳴ラスナリ曳カレテ運行スル船ハ曳ク船ト同ジ信號ヲ爲スハ差支

ナケレドモ外ノ變タ信號ヲナスベラズ
此項中運轉自由ヲ得ズシテ近寄り來ル他船ノ航路ヲ避ケ能ハザルカ又ハ本法ニ遵テ運轉シ能ハザル船舶トアルハ事變ノ爲メ運轉自由ナラザルハ勿論其他ノ事情ニテ此法律ニ依リ運轉シ能ハザル船舶ヲ云フモノニシテ海錨投入ノ場合或ハ錨海底ニ觸レオルモ效力ナキ場合等ハ本法ニ遵テ運轉シ能ハザル船舶ナラン

總積量二十噸未滿ノ帆船ハ必スシモ前數項ニ規定シタル信號ヲ爲スヲ要セス然レトモ其ノ信號ヲ爲サ、ルトキハ一分時ヨリ多カラサル間隙ヲ以テ適宜他ノ音響信號ヲナスヘシ

霧中速度

(四六)

【註】霧中雪降り暴雨等ニテ咫尺ヲ辨ゼザルトキハ強速力ヲ以テ進行スルハ危険ナルニヨリ之ヲ警戒シタルモノナリ

第十六條 霧中降雪其ノ他暴雨中ハ各船現時ノ狀況ニ注意シ適度ノ速力ヲ以テ進行スヘシ

【註】霧中雪降り暴雨等ニテ四方見得難キトキハ其時ノ狀況ニ氣ヲ付ケ汽船ナレバ汽力ヲ緩ルメ帆船ナレバ帆ヲ減シテ程宜キ速力ニナシ進行スベシ

汽船其ノ正横ヨリ前面ニ方リテ他船ノ霧中信號ヲ聞キ其ノ所在ヲ定メ得サルトキハ成ルヘク機關ノ運轉ヲ止メ全ク衝突ノ虞ナキニ至ルマテ其ノ運行

ニ注意スヘシ

【註】霧中雪降り暴雨等ニテ前方ノ見得ザルトキ眞横前ニ當リ他船ノ霧中信號ヲ聞キ居ルモ其所在ガ分ラストキハ成ルベク機關ノ運轉ヲ止メ全ク衝突ノ危険ハナイト見込ノ着クマテ運行ニ注意スベシト云フコトナリ

航方

【註】船ノ替シ方ノ定メナリ

衝突ノ危険ハ其ノ現況ニヨリ我船ニ近寄り來ル他船ノ方位ヲ看守シテ之ヲ豫知スルヲ得若其ノ方位慥カニ變更スルヲ認メサルトキハ危険アルモノト知ルヘシ

(四七)

【註】兩船互ニ接近スルトキ衝突ノ危険アルヤ否ヤハ自分ノ船ニ近寄り來ル他船ノ方位ニ注意スレバ前以テ豫知スルコトガ出來ルモノデアアル其レヲ知ランニハ先ヅ我船ノ針路ヲ托ゲヌ様一直線ニ保チ近寄り來ル他船ノ方位ヲ見守リテ其方位變更スルヤ否ヤニ注意シ若何時マデモ變更セヌトキハ衝突點ニ出會スル針路ニ接近シ來ルモノナルベシ

第十七條

二艘ノ帆船互ニ近寄りテ衝突ノ虞アルトキハ其一船ヨリ左ノ如ク他船ノ航路ヲ避クヘシ
一杯ニ開カサル船ハ一杯ニ開キタル船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】一杯ニ開キタル帆船ト一杯ニ開カヌ帆船ト出會ヒ衝突ノ虞アルトキハ一杯ニ開カヌ船ハ一杯ニ開キタル船ヲ替シ

避クベキナリ

二 左舷ニ一杯ニ開キタル船ハ右舷ニ一杯ニ開キタル船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】左舷詰開ノ帆船ト右舷詰開ノ帆船ト出會ヒ衝突ノ虞アルトキハ左舷詰開ノ船ハ右舷詰開ノ船ノ航路ヲ替シ避クベキナリ

三 一杯ニ開カサル二艘ノ船風ヲ受クル舷同シカラサルトキハ左舷ニ風ヲ受ケタル船ヨリ他船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】一杯ニ開カヌ二艘ノ船一方ハ右舷ニ風ヲ受ケ一方ハ左舷ニ風ヲ受ケテ出會シ衝突ノ虞アルトキハ左舷ニ風ヲ受ケ

タル船ハ右舷ニ風ヲ受ケタル船ノ航路ヲ替シ避クベキナリ

四 一杯ニ開カサル二艘ノ船風ヲ受クル舷同シキ
トキハ風上ノ船ヨリ風下ノ船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】一杯ニ開カヌ二艘ノ船ガ同ジ舷方ニ風ヲ受ケテ出會シ
衝突ノ虞アルトキハ風上手ニ當ル船ハ風下ナル船ノ航路ヲ
替シ避クベキナリ

五 船尾ヨリ風ヲ受ケタル船ハ他船ノ航路ヲ避ク

ヘシ

【註】船尾ニ風ヲ受ケタル船他ノ帆船ト出會ヒ衝突ノ虞アル
トキハ何時モ替スベキモノトス

船尾風トハ横帆船ナレバ「メインスル」「スパンカー」ヲ絞リ居ル
トキ縦帆船ナレバ「ブーム」ヲ左右ニ分ケ航行スル時ト思フベ

第十八條 二艘ノ汽船正シク眞向又ハ幾ント眞向ニ
行逢フテ衝突ノ虞アルトキハ兩船トモ針路ヲ右舷
ニ轉シ互ニ他船ノ左舷ノ方ヲ行過クヘシ

【註】此條ハ二艘ノ汽船ガ正シク眞向キ又ハ幾ント眞向ニ出
會ヒタルトキノ替シ方ヲ定メタルモノナリ斯ノトキハ兩船
共ニ針路ヲ右轉シテ互ニ他船ノ左舷ヲ相見合フテ替シ行ク
ベシ

本條ハ兩船正シク眞向又ハ幾ント眞向ニ行逢フテ
衝突ノ虞アルトキニ限り適用スヘシ兩船各其ノ針
路ヲ保チテ互ニ替リ行クトキニハ適用スヘカラス

本條ヲ應用スヘキ場合ハ兩船共ニ正シク眞向又ハ
幾ント眞向ニ行逢ヒタルトキ即チ晝間ニアリテハ
我船ノ檣ト他船ノ檣ト一直線又ハ幾ント一直線ニ
見ユルトキ夜間ニアリテハ互ニ他船ノ兩舷燈ヲ見
ルトキニ限ルヘシ

〔註〕燈心ノ巾ト隔板ノ構造上自他互ニ兩舷燈ヲ見ルハ左右
舷四度位トスソレニ舵ノスワリヲ見込ミ半點以内ヲ以テ殆
ンド眞向トナスガ相當ナルベシ

本條ハ晝間他船ノ我鍼路ヲ横切リテ我船ノ前面ニ
見ユルトキ又ハ夜間我船ノ紅燈他船ノ紅燈ニ對シ
或ハ我船ノ綠燈他船ノ綠燈ニ對スルトキ又ハ我船

ノ前面ニ綠燈ヲ見シテ紅燈ヲ見或ハ紅燈ヲ見ス
シテ綠燈ヲ見ルトキ又ハ綠紅ノ兩燈ヲ我船ノ前面
ヨリ他ノ位置ニ見ルトキハ適用スヘカラス

〔註〕此項ハ本條第一項ヲ適用スベカラザル場合ヲ例示シタ
リ其場合ヲ列舉レバ左ノ如シ

- 他船ガ我船ノ前面ニ在リテ我針路ヲ横切ルトキ
- 我船ノ紅燈他船ノ紅燈ト對シ居ルトキ
- 我船ノ綠燈他船ノ綠燈ト對シ居ルトキ
- 我船ノ前面ニ紅燈ノミヲ見ルトキ
- 我船ノ前面ニ綠燈ノミヲ見ルトキ
- 我船ノ前面以外ノ位置ニ他船ノ兩舷燈ヲ見ルトキ

第十九條 一 一艘ノ汽船互ニ航路ヲ横切衝突ノ虞アル

トキハ他船ヲ右舷ニ見ル船ヨリ他船ノ航路ヲ避ク
ヘシ

第二十條 帆船ト汽船ト互ニ近寄り衝突ノ虞アルト
キハ汽船ヨリ帆船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】汽船ト帆船ト出會衝突セントスルトキハ進退自由ナル
汽船ガ帆船ヲ替スベキナリ

第二十一條 本法航方ニ依リ二船ノ内一船ヨリ他船
ノ航路ヲ避クルトキハ他船ニ於テ其ノ航路及速力
ヲ保ツヘシ

【註】此ノ規則ノ定メニ從フ義務船ガ權利船ノ航路ヲ替スト
キハ權利船ニ於テハ舵ヲ托グズ一直線ニ針路ト速力ヲ其儘

ニ保ツベシ

但シ他船ニ於テ天氣密濛又ハ其ノ他ノ事故ニヨリ
航路ヲ避クル船ノ處置ノミニテハ衝突ヲ避ケ能ハ
サル程兩船接近シタルコトヲ認ムルトキハ自ら亦
タ臨機衝突ヲ避クルニ至當ノ處置ヲ爲スヘシ

【註】權利船ハ本條本文ノ規定ニテドコマデモ針路速力ヲ保
ツベキナレドモ天氣密濛ナル爲メ又島岬ナドノ陰ヨリ突然
現出シタル如キ場合ニテ義務船ノミノ所置ニテハ替シ切レ
ヌ程兩船接近シタルトキ權利船ノ方ニテモ斟酌シテ危險ヲ
免ガル様臨機ノ所置ヲ以テ替ス事ヲナサバルベカラズト非
常處置ヲ斷リ置キタルモノナリ

第二十二條 本法航方ニ依リ他船ノ航路ヲ避クヘキ

船ハ成ルヘク他船ノ前面ヲ横切ルヘカラス

(五六)

【註】此規則ニ從ヒ義務船ガ他船ヲ替シ行クニハ帆船汽船ノ別ナク成ルベク他船ノ前面ヲ横切ラズニ他船ノ船尾ニ替シ行ク様ニナスベシ

第二十三條 本法航方ニ依リ他船ノ航路ヲ避クヘキ

汽船ハ他船ニ近寄りタルトキ時宜ニ應シテ速力ヲ

緩メ若ハ運轉ヲ止メ又ハ後退スヘシ

第二十四條 總テ他船ヲ追越ス船ハ本法航方中前數

條ノ規定ニ拘ハラス他船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】此條ハ他船ヲ追越ントスル船ノ義務ヲ定メタルモノナリ

他船ヲ追越サントスル船ハ前條航方ノ規定ニハ關係ナク又

汽船帆船ノ差別ナク追越サル、他船ヲ替スベキモノト定メ

タリ

總テ他船ノ兩舷正横後ノ二點以外即チ夜間ニアリ

テ舷燈ヲ見難キ位置ヨリ其ノ船ヲ追越サントスル

船ハ之ヲ追越船ト爲シ其ノ後兩船ノ位置ニ變更

ヲ來スモ其ノ追越船ヲ以テ本法ノ航路横切船トナ

サス故ニ其ノ船ハ他船ヲ全ク追越シ了ルマテ他船

ノ航路ヲ避クヘキモノトス

【註】追越船トハ他船ノ兩舷正横後ノ二點以外ノ位置夜間ナレバ舷燈ノ見得ヌ位置ヨリ追抜カントシテ進ミ來ル船ヲ指スモノナリ而シテ其進行中ニ追抜カル、船ガ針路ヲ變ジタルタメ位置ガ變更シテモ横切リ船トハ見做サヌ矢張前ニ追

(五七)

越船ノ位置ニアルモノヲ義務船トナシ他船ヲ全ク追抜キ了ルマデハ追越船ノ義務ヲ守ルベキモノトス

晝間他船ヲ追越サントスル船舶ニシテ前項ニ記載シタル方位ノ内外ヲ辨知シ難キモノハ本船ヲ追越船ト見做シテ他船ノ航路ヲ避クヘシ

【註】晝間後ヨリ他船ニ追及タルトキ舷燈ノ見難キ位置ナルヤ否ヲ辨知シ能ハザルトキハ後カラ來タ船ヲ以テドコマデモ追越船ト思惟スベシト云フ意ナリ

第二十五條 汽船狹隘ノ水道ハ於テ無難ニ通航シ得ルトキハ其ノ中流ノ右側即チ本船ノ右舷ニ當ル方ヲ航行スヘシ

【註】汽船ガ隘キ瀬戸或ハ海峡川杯ヲ通行スルトキ孰レノ側ヲ通ルモ危険ナルコトナクバ落筋中流ヨリ自船ノ右舷ニ當ル方ニ就キ通行スベシトナリ

第二十六條 航行中ノ帆船ハ網或ハ繩ヲ用井テ漁業ニ従事スル帆船ノ航路ヲ避クヘシ但シ漁船ト雖モ猥ニ他船ノ通行スヘキ線路ヲ妨クヘカラス

【註】航行スル帆船ハ曳網刺網打瀬繩釣等ニ従事スル漁船ノ航路ヲ避クベシ併シ漁船ノ航路ヲ他船ガ替スベキモノト云フテ漁船ガ無暗ニ他船ノ通行スベキ線路ニ邪魔シテハナラスト云フ譯ナリ

汽船ト漁船トノ權利義務ハ汽船ハ帆船ニ帆船ハ漁船ニ對シ

義務船ナル故自ラ明カナル譯ナリ
本條ハ漁船ニ對スル帆船ノ義務ヲ定メタルモノナルモ第九
條四甲ニ規定スル打タセ網ノ汽船ニ對スル義務ハ含まレズ
ト考フ此レニ對スル帆船ハ該汽船ニ特殊ノ事故アラザル限
リハ針路速力ヲ保チテ可ナルベシ

第二十七條 本法ヲ履行スルニ當リ運航及衝突ニ關

シ百般ノ危険ニ注意スルハ勿論若シ危険切迫シテ
本法ヲ履行シ能ハサル特殊ノ場合ニ於テハ其危険
ヲ避クル爲メ臨機ノ處置ヲ爲ス事ニ注意スヘシ

【註】本法ヲ實地ニ行フニ就テハ船ノ運行ト衝突ニ關スル百
般ノ危険ニ心ヲ配リ居ル事ハ云フマデモナキ事夫ノミナラ
ズ若シ彌ヨ危険切迫シ此規則通り行フ事ノ出來ス特別ノ場

合ニハ臨機應變ノ處置ヲ以テ危険ヲ避クル様爲ス事ヲ用心
シ居ルベシ

航路信號

【註】汽船ガ針路ヲ轉ズルトキ汽笛或ハ汽角ヲ以テ他船ニ知
ラス合圖ナリ

第二十八條 本條中短聲トハ大約一秒時間ノ發聲ヲ

謂フ

航行中ノ汽船他船ニ近寄り針路ヲ變セントスルト
キハ汽笛若クハ汽角ヲ以テ左ノ信號ヲ爲シ他船ニ
我船ノ鍼路ヲ通知スヘシ
短聲一發我船針路ヲ右舷ニ取ル

短聲二發我船針路ヲ左舷ニ取ル
短聲三發全速力ニテ後退ス

懈怠ノ責

【註】此規則ニテ怠ノ越度

第二十九條 本法ハ點燈信號又ハ見張ノ怠リ其他海員ノ常務又ハ臨機ノ處置ニ必要ナル注意ノ怠リヨリ生シタル結果ニ付船主船長海員ヲシテ其ノ責ヲ免レシメサルモノトス

【註】此規則デハ船燈ヲ點ズル事信號ヲ爲ス事ヲ怠リ又ハ見張ノ手抜カリ其外海員ガ平素ナスベキ務又ハ臨機ノ處置ヲ

ナサネバナラヌ注意ノ手落ちヨリ惹起シタル事柄ニ就テハ船主船長海員ニ至ルマデ其咎メヲ免ル事出來ヌナリ

特例

【註】此特例トハ本法例外ノ事柄ナリ

第三十條 本法ハ地方長官ニ於テ規定シタル港川其他内海ノ運航ニ關スル特別規則ノ施行ヲ妨ケス

【註】此規則ハ各國共通法ニシテ公海一般ニ適用スルヲ目的トシタルモノナレバ小部分ノ港川又ハ内海等ニテ其地方風土ニヨリ種々ノ事情モアリテ一般法ノ下ニ服從セシムル事ハ不可能ナル場合モアルニヨリ地方夫々取締規則ノ施行ニ對シテハ本法ノ干渉セザル處デアルト云フナリ

難船信號

〔六四〕

【註】船舶遭難ノトキニ爲ス合圖ナリ

第三十一條 危難ニ罹リテ他船又ハ陸地ヨリ救助ヲ要スル船舶ハ左ノ信號ヲ同時又ハ別々ニ使用スヘシ

晝間信號

一 大約一分時ノ間隙ヲ以テ砲又ハ其他ノ爆裂發火信號ヲ一發ス

【註】約一分時ノ間合ニ大砲一發ヅ、放ツカ又ハ榴彈ナリ火箭ナリヲ一發ヅツ打上グルナリ

二 萬國船舶信號書ニ掲載スルNCノ信號ヲ表示ス

【註】萬國船舶信號書ニ記載シテアルNノ旗トCノ旗トヲ連掲シタルニ旗信號ヲ掲グルナリ

三 方形旗ノ上又ハ下ニ球若ハ之ニ類似ノモノヲ掲クル遠隔信號ヲ表示ス

【註】旗色ノ分カラヌ遠方ニ氣ノ附ク様四角ナ旗ノ上ナリ下ナリヘ球カ夫レニ似寄ノモノヲ連掲シテ表示スルナリ

四 霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發ス

【註】霧中號角、號鐘、汽笛、汽角等ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發スルナリ

〔六五〕

此ノ外萬國船舶信號法ニ依リ尖端ヲ上ニシタル圓錐形ノ上
又ハ下ニ球若ハ類似ノモノヲ掲グル遠距離信號ヲ表示ス

夜間信號

一 大約一分時ノ間隙ヲ以テ砲又ハ其他ノ爆裂發
火信號ヲ一發ス

二 船上ノ發焰(タル桶油樽等)
【註】甲板上ニテ(ター)桶ヲ燃スカ油樽ヲ燒テ火焰ヲ掲グル事

三 星火ヲ發スル榴彈、火箭ヲ一次一發ツ、度々打
揚ク

【註】榴彈カ火箭ヲ度々打掲ゲテ星火ヲ發スルコト

四 霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ヲ發ス

附則

第三十二條 本法中船舶積量噸數ニ關シ日本形船ハ

十石ヲ以テ一噸ニ通算ス

第三十三條 本法ハ明治廿六年一月一日ヨリ施行ス

第三十四條 明治十三年七月第三十五號布告海上衝

突豫防規則同十四年五月第三十三號布告同規則追

加同十八年八月第二十七號布告同規則改正追加ハ

本法施行ノ日ヨリ廢止ス

海上衝突豫防法講義終

海上衝突豫防法問答

海上衝突豫防法問答

本法ノ性質及ビ實施

問

海上衝突豫防法トハ如何ナル規則ナルカ

答

船舶ノ衝突ヲ豫防スル爲メ萬國會議ニ於テ制定シタル各國共通ノ規則ニテ我帝國ニ於テハ明治二十五年六月二十二日法律第五號ヲ以テ公布セラレ翌二十六年一月一日ヨリ實施セラレ居ル特別法デアリマス

適用ノ範圍

問

本法ハ如何ナル範圍ニ適用セラル、カ

答

海洋ハ勿論海洋ニ續キタル所デモ航洋船ガ運航スル所デアレバ其形ノ大小種類ノ如何ニ拘ラズ一切ノ船舶ニ適用セラレマス

問 然ラバ航洋船ノ運航セザル場所ニ在テハ適用セザル譯ナルカ

答 然リ航洋船ノ運航セザル場所ハ本法適用ノ範圍外デアリマス

問 航洋船ノ程度ハ如何

答 海洋ヲ航海スルニ適スル船舶ヲ云ヒマス

問 然ラバ安治川ノ上流即チ淀川或ハ近江ノ湖水等ニ在テハ船燈ヲ點セザルモ又ハ他船ト出會シ適宜ニ替シ行クモ差支ナキカ

答 夫レハ本法ノ問フ所ニアラズシカシ左様ノ場所ニハ必ズ地方取締規則若ハ慣例ノアルベキニヨリ其規則ヲ遵守スベキデアアル

本法ノ効力

問 此規則ハ外國ノ領海ニモ又我國ノ領海ニ在ル外國船ニモ同様ニ適用セラルベキカ

答 締盟諸國ノ船舶ハ皆一樣ニ遵守スベキデアアル

船舶ノ區別

問 此豫防法ニ於テ船舶ヲ汽船帆船ノ二類ニ區別シタルハ如何ナル譯ナルカ

答 運轉ノ能力ニヨリ權利義務ヲ定ムルガ爲メデアリマス

問 此規則ニテ帆船トハ如何ナル船ヲ指スカ

答 帆ノ力ニテ運轉スル一切ノ船舶ヲ指シマス (總則第二項)

問 然ラバ汽船デモ帆ヲ以テ運轉スルトキハ帆船ト見做スカ

答 汽力ヲ用キズ全ク帆ノ力ニテ運轉スルトキハ帆船ト見做マス

問 此規則デ汽船トハ如何ナル船ヲ指スカ

答 凡テ機關ノ作用ニヨリ運轉スル船ハ如何ナル手段方法ニヨルモ皆汽船ト見做シマス (總則第三項)

問 主トシテ帆力ヲ用ヒ汽力ハ僅カニ進行ヲ補助スルノミナルトキハ汽船

【總則】

ト見做スベキカ帆船ト見做スヘキカ
然リ汽力帆力併用スルモノナルニヨリ勿論汽船ト見做シマス(總則第二項)

航行ノ定義

問 船舶ノ航行中トハ如何ナル場合ヲ指スカ

答 船舶ガ碇泊ニアラズ繫留ニアラズ又坐礁ニモ膠沙ニモアラヌ場合ハ總

テ航行中ト稱スベキデアリマス(總則第四項)

問 船舶ノ碇泊ト云フハ如何ナル場合ヲ指スカ

答 停船具ヲ用ヒテ一所ニ留リ居ル場合ヲ申シマス

問 走錨中ハ碇泊中カ航行中カ

答 航行ヲ繼續シテ投錨ヲナシタルモ其効ヲ生ゼズシテ走錨シツツアル際

ハ航行中碇泊ヲ繼續シテオル内ニ暴風等ノ爲メ走錨スル際ハ碇泊中ト考フルガ至當ト思ヒマス

問 繫留トハ如何ナル場合ヲ指スカ

答 停船具ニ依ラズ石或ハ杭杯ニ綱ヲ取り繫ギ居ル場合ヲ申シマス

問 然ラバ繫船浮標ニ繫泊シアルトキハ繫留ニアラザルカ

答 停船具ヲ用ヒ居ルモノ故碇泊ト稱スベキナリ

問 坐礁トハ如何ナル場合ヲ指スカ

答 岩礁ニ乘リ揚ゲ居ル場合ヲ申シマス

問 膠沙トハ如何ナル場合ヲ指スカ

答 淺洲ニ膠リ居ルヲ申シマス

船燈

問 船燈トハ如何ナルモノナルカ

答 船舶ガ此豫防法ノ規定ニ遵ヒ標示スベキ燈ノコトヲ申シマス

問 船舶ガ豫防法ノ規定ニ遵ヒ使用スル燈ノ種類ハ如何

【船燈】

答 橋燈、舷燈、兩色燈、碇泊燈及ビ信號用ノ別種船燈等デアリマス

問 橋燈トハ如何ナルモノカ

答 汽船ガ航行中前面ニ標示スル白燈ノコトデアリマス(第二條第一項)

問 夫レハ如何ナル構造ノモノデアアルカ

答 常ニ不同ナク、亮明ノ光ヲ發シテ針盤ノ二十點間ヲ照スベク製造シタルモノニテ、船燈信號器救命具試驗檢定規程ニ合格ノモノヲ用キネバナリ

マセヌ

問 舷燈トハ如何ナル燈デアアルカ

答 夜間航行中ノ船舶ガ兩舷ニ標示スル綠紅ノ兩燈ノコトデアリマス

問 夫レハ如何ナル構造ノモノデアアルカ

答 船ノ正首ヨリ各舷正横後ノ二點マデ針盤ノ十點間ヲ照スベキ構造ノモノデ規程ニ合格ノモノデナケレバナリマセヌ

問 兩色燈トハ如何ナルモノデアアルカ

答 夜間航行中ノ小船舶ガ兩舷燈ノ代リニ用フル一燈ニテ綠紅ノ二色ニ照

ラシ分ケル燈デアリマス

問 夫レハ如何ナル構造ノモノデアアルカ

答 前面ヨリ左右正横後二點マデ各側へ十點ヅ、右舷ハ綠色左舷ハ紅色ノ

射光ヲ發スベキ樣製造シタルモノデ是モ規程合格ノモノデアリマス

問 碇泊燈トハ如何ナルモノデアアルカ

答 船舶ガ碇泊中標示セル白燈ノコトデアリマス

問 其白燈ハ如何ナル構造ノモノデアアルカ

問 周回ヲ照スベク製造サレタル圓筒形或ハ球形ノ燈デ規程ニ合格ノモノ

デアリマス

問 別種船燈トハ如何ナルモノヲ云フカ

答 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船及海底電信工事ニ従事スル船ガ夜中掲

揚スル信號用ノ紅燈及ビ白燈デアリマス

問 夫レハ如何ナル構造ノモノデアアルカ
答 周回ヲ照ラスベク製造サレタル圓筒形或ハ球形ノモノデ規程ニ合格ノ

問 以上ノ船燈ハ如何ナル期間燃力アルモノデアアルカ
答 兩色ノ燈籠ヲ除キ外ノ船燈ハ船燈信號器試験檢定規程ニヨリ十六時間

以上費消シ得ベキ油量ヲ貯フル油壺ヲ具ヘ同時以上規定ノ光力ヲ保

ツベキ筈ノモノデアリマス
問 規定ノ光力トハ如何
答 各燈ハ豫防法第二條第四條第七條第十一條ニ從ヒ夫々ノ光達距離ヲ亮

明ニ照スベキヲ云フノデアリマス
問 船燈ノ光達距離ハ如何ナル程度ヲ標準トシタルモノデアアルカ
答 晴レタル暗夜ニ於テ健全ナル肉眼ノ見得ベキ程度ヲ標準トシタルモノ

デアリマス
問 船燈ヲ標示スル時刻ニ規定ハナキカ
答 然リ有リマス晴雨ニ拘ラズ日没ニ掲揚シテ翌朝日出ニ引卸シマス

問 船燈ノ標示ニ就テ時刻ノ外他ニ制限ハナキカ
答 船燈ヲ標示スルトキハ規定ノ燈火ノ外他ノ紛ハシキ燈火ハ決シテ掲ゲ

ザル様ナサネバナリマセン(第一條)
問 點燈時刻ハ嚴正ニ守ルベキデアアルカ
答 嚴正ニ守ルベキ筈ナリ

問 日出日没ノ時刻ハ何ニ由テ知ルカ
答 曆ニ據リテ大略ヲ知リマス

問 曆ニ記載シアル日出日没ノ時刻ハ各地一様ニ適用シテ差支ナキカ
答 正確ナル時刻ハ一々算測スルニアラザレバ知ラルベキモノデアリマセ

ン
問 其測算ヲ知ラザルモノハ如何ナスカ

答 日出日没ノ時刻ヲ正確ニ知リ得ザル場合ニハ點燈ヲ早目ニナシ消燈ヲ
 遅クナサバ規則違反ニ陥ルコトハアリマセン
問 日出後マデ點燈シテモ本法違反ニアラザルカ
答 消燈ノ時刻ヲ超過シタルトテ敢テ咎ムベキニアラザルモノト思惟シマ
 ス

碇泊ノ船燈

問 船舶碇泊中ハ如何ナル船燈ヲ掲グルカ
答 船ノ長サ百五十尺内外ニヨリ標示方ガ違ヒマス (第十一條)
問 長サ百五十尺未満ナレバ如何
答 前方ノ最モ見得易クシテ船體上二十尺ヲ越エザル所ニ白燈一個ヲ掲ゲ
 マス
問 最モ見得易キトハ如何ナル場所ヲ意味シタルモノナルカ

答 圓材索具等ノ爲メ射光ノ遮斷セラル、コトノ少ナキ場所ト云フ意デア
 リマス

問 船體上トハ甲板上ノ意ナルカ

答 舷縁上ノ意デアリマシテ船首ノ最高ノ場所ヲ標準ニシマス

問 百五十尺以上ノ船舶ハ如何ニ碇泊燈ヲ掲グルカ

答 前後ニ一個ヅ、二個ノ白燈ヲ掲ゲマス

問 其前燈ハ如何ニ掲グルカ

答 前燈ハ前方ノ最モ見得易クシテ船體上二十尺以上四十尺以下ノ範圍内
 ニ掲ゲマス

問 後燈ハ如何ニ掲グルカ

答 船尾若クハ其最寄ニ於テ前燈ヨリ少クモ十五尺低ク掲ゲマス

問 長サ百五十尺有ル無シハ何ニ據テ知ルカ

答 國籍證書面ニ記載シタル長サニ據リマス

問 碇泊燈ハ何海里ノ距週ヨリ見得ベキ規定ナルカ

答 前方ノ白燈ハ晴天ノ暗夜ニ少クモ一海里ノ距離ヨリ見得ベキモノデア
リマス

問 長サ百五十尺以上ノ船碇泊ノトキ船尾ニ掲グルハ如何ナル燈ナルカ

答 前方ノモノト同一ノモノデアリマス

問 其光達距離ハ幾許カ

答 同種ノ白燈トアルニヨリ一哩ノ距離ヨリ見得ベキモノト推定シナケレ

問 パナリマセヌ

問 船船碇泊ニアラズシテ落潮ノ爲メ一時鰐リ居ル場合ニハ碇泊ト同様ノ

船燈ヲ標示シテ可ナルカ

答 他船ノ通行スベキ航路若クハ其最寄りニ於テ鰐リタル場合ニハ碇泊燈

ノ外ニ紅燈二個ヲ掲ゲマス

問 其紅燈ハ如何程ノ高サニ掲グルカ

答 二十尺以上四十尺以下ノ範圍内ニ掲ゲマス

問 然ラバ二十尺以上四十尺以下ノ範圍内ナレバ何所ニ掲ゲテモ差支ナキ

カ

答 他船ヨリ能ク見ユル所ニアレバ差支エアリマセン

問 若シ長サ百五十尺以上ノ船ナルトキハ白燈二個ノ外ニ紅燈二個ヲ掲ゲ

ベキ譯ナルカ

答 然リ

問 連掲スベキ紅燈ノ間隔ハ幾許ナルカ

答 上下ニ少ナクモ六尺ノ間隔ヲ以テ連掲シマス

問 其紅燈ハ針盤ノ幾方位ヲ照シ幾許ノ距離ニ見得ベキヤ

答 周回ヲ照シ晴天ノ暗夜ニ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキモノデアリ
マス

帆船航行中ノ船燈

問 夜間航行中ノ帆船ハ如何ナル船燈ヲ掲グルカ

答 緑紅ノ兩舷燈ノミデス (第五條)

問 其緑紅ノ舷燈ハ如何ニ標示セラル、カ

答 緑燈ハ右舷ニ紅燈ハ左舷ニ取附タル隔板内ニ据付ケ掲示シマス (第二條)

問 隔板トハ如何ナルモノナルカ

答 射光ノ方位ヲ界限スル爲メ設ケタル屏風様ノ圍板ニテ燈心ノ位置ヨリ

前方ニ三尺以上突出シ其外端ニハ隔障ヲ設ケ其外側ヨリ燈心ノ内側ニ

引キタル線ハ船首尾線ト並行スル様取付ケタルモノデアリマス (船舶検査

規程第六

問 隔板ヲ前方ニ突出セシメ且ツ其前端ニ隔障ヲ設クルハ何ノ爲メナルカ

答 前面ノ射光ヲ嚴重ニ界限シ兩光ノ交叉點ヲ成丈ケ遠ク前方ニ在ラシム

ル爲メデアリマス

問 其理由如何

答 兩燈ノ射光ガ船首ニ近ク交叉スルトキハ船首些少ノ振回リニテハ容易

ニ兩燈ノ變化ヲ顯サバル爲メ交叉角ノ少ナキ横切船モ眞向ノ船モ區別

シ難キ虞アル爲メデアリマス

問 舷燈ノ射光ハ鐵盤ノ幾方位ヲ照スモノナルカ

答 船首ヨリ正横後ノ二點迄各十點宛ヲ照スベキモノデアリマス (第二條第二

項第三項)

問 其光力ハ幾許ノ遠サニ達スベキモノナルカ

答 晴レタル暗夜ニ少クモ二海里ニ達スベキモノデアリマス (同前)

問 航行中ノ帆船ハ兩舷燈ノ外他ニ何等ノ燈火ヲ標示スルコトナキカ

答 外ニ有リマセン但追越船ニ對シテ船尾ニ白燈一個ヲ標示シ置クハ差支

アリマセン (第十條第二項)

問 其船尾ノ白燈ハ常ニ標示シ置クベキ規定ナルカ

問 船尾ノ白燈ハ追越船ヲ見掛ケテ臨時表示スベキモノナルモ出入レノ

煩ヲ避ケ豫メ船尾ニ揭示シ置クコトヲ得ルノデアリマス (同前第一項第二項)

問 船尾ノ白燈ヲ揭示スルニ就キ規定ハナキカ

答 有マス其白燈ハ正尾ヨリ左右六點ヅ、十二點間ヲ照スベキ様射光ヲ界

限スル隔板ヲ成ルベク舷燈ト同ジ高サニ装置シテ其内ニ點ジ置キマス

問 其船尾燈ノ光達ハ何海里ナルカ

答 晴レタル暗夜ニ一海里以上ノ遠方ヨリ見得ベキ様ナシ置キマス

問 追越船ニ對シテハ船尾ニ白燈ヲ表示スルバカリデ外ニナス事ハナキカ

答 白燈ノ代リニ閃火ヲ發シテモ差支ナシ (第十條)

問 然ラバ追越船アル都度閃火ヲ發スレバ別ニ白燈ヲ船尾ニ表示スルニ及

バザル譯ナルカ

答 然リ

問 閃火トハ如何ニ發スル火ナルカ

答 燈火ヲ樽或ハ桶等ニ出シ入レシテピカクサシテモ閃火デアリマス

問 小形船ガ荒天激浪ノトキ船燈取扱ニ就テ特別ナル規定ハナキカ

答 暴風雨又ハ激浪ノ爲メ舷燈ヲ兩舷ニ掲ゲ置キ難キトキハ綠紅ノ兩舷燈

ヲ點火シテ直チニ取出シ易キ様便宜ナル處ニ構へ置キ他船ノ吾船ニ近

寄り來ルカ我船他船ニ近寄り行クトキハ衝突ヲ防グニ充分ナル間合ヲ

見計ラヒ速カニ取出シテ表示シマス此時綠光ハ左舷ニ紅光ハ右舷ニ見

エザル様且ツ正横後二點以外ニモ見エザル様注意シナケレバナリマセ

ン

問 小形船トハ何噸以下ヲ云フカ

答 噸數ニハヨリマセン荒天ニ舷燈ノ掲ゲテ置カレンヨウナ船ヲ云ヒマス

問 其ノ舷燈ハ別ニ構造ノ異ナル所ナキカ

答 構造ニ於テハ別ニ異リタル所ハアリマセンガ綠紅ノ各燈ヲ間違ナク容

易ク取扱フニ便利ノ爲メ綠燈ノ外面ヲ綠色ニ紅燈ノ外面ヲ紅色ニ塗り

尙ホ適當ナル隔板ヲ備ヘ右舷ノモノハ緑リニ左舷ノモノハ紅ク塗り置キマス (第六條第二項)

問 帆船ハ如何程小ナルモ皆同様に船燈ヲ用フルカ

答 總積量二十噸ニ滿タザル帆船ト櫛權ヲ用テ運轉スル船ハ別段ニ定メタル規定ニ遵テ點燈スルトキハ大船ト同様ナル點燈ヲナサ、ルモ差支アリマセヌ (第七條三項)

問 其規定ハ如何

答 二十噸ニ足ラヌ帆船航行中ハ帆ヲ用テ走ルトキモ櫛權ヲ使フテ漕ギ居ルトキモ同様ニ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用ヒタル燈籠一個ヲ手

近ニ備置キ他船ト我船ト接近スルトキハ衝突ヲ防グニ充分ナル間合ヲ見定メテ表示スル様規定シテアリマス

問 左様ノ場合ニ大切ニ注意スベキコトハ何カ

答 燈籠ヲ表示スルトキ綠光ハ左舷ヨリ紅光ハ右舷ヨリ見ヘザル様注意シ

テ取扱ヒマス (第七條第三項)

問 其燈籠ハ常ニ表示シ置クモ差支ナキカ

答 前面ニ於テ他船ヨリ能ク見ユル處ニ表シ置クハ差支ナシト思ヒマス

問 櫛權ヲ以テ運轉スル船ハ如何様ニ點燈スルカ

答 櫛ヲ以テ漕ギ居ルモ帆ヲ用テ走リ居ルモ其差別ナク白色ノ燈籠一個ヲ手近ニ備置キ他船ト接近スルトキハ衝突ヲ防グニ充分ナル間合ヲ見定

メテ臨時ニ表示シマス

問 二十噸未滿ノ帆船ガ櫛權ヲ以テ漕ギ行クトキハ即チ櫛權ヲ以テ運轉ス

ル船トナリ櫛權ヲ以テ運轉スル船モ帆ヲ用テ航走スルトキハ二十噸未

滿ノ帆船ト別ニ異ナルコトナキガ如シ然ルニ其區別アルハ如何

答 帆船ト櫛權ヲ以テ運轉スル船トノ區別ハ構造上ノ差異ヨリ云フモノニ

シテ運行シ居ルトキノ状態ヲ以テ云フモノデアリマセン

問 然ラバ其差異ハ如何

答 然ラバ其差異ハ如何

答 帆船ト云フハ船體ノ大小ニ拘ラズ帆走ヲ目的トシテ造リタルモノニテ
 櫓權ヲ以テ運轉スル船ト云フハ猪牙、劍先、ダンベ、一、解等ノ如キ櫓權等ニ
 テ運轉スベキ構造ノモノデアリマス

汽船航行中ノ船燈

問 汽船夜間航行中ハ如何ナル船燈ヲ掲グベキ規定ナルカ

答 衝突豫防法第二條ノ規定ニ依リ白色ノ櫓燈ト綠紅ノ舷燈ヲ掲グ尙ホ外

ニ白燈一個ヲ増掲シテモ構ヒマセン

問 櫓燈ハ如何ニ掲グルカ

答 同法第二條第一項ノ規定ニ遵ヒ前櫓ノ前面若クハ其船ノ前方ニ於テ船
 幅二十尺以内ナレバ船體上二十尺ヨリ低カラザル所ニ若シ船幅二十尺
 ヲ超ユルトキハ其船幅ヨリ低カラザル所但シ四十尺ヲ越エザル範圍内
 ニ掲ゲ其射光ハ正首ヨリ左右各舷正横後ノ二點迄十點ヅ、二十點間ヲ

照シ少クモ五海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表示イタシマス

問 綠紅ノ兩舷燈ハ如何ニ掲グルカ

答 綠燈ハ第二條第二項ニ遵ヒ右舷ニ紅燈ハ同條第三項ニ遵ヒ左舷ニ各同
 條第四項ニ遵テ裝置シタル隔板内ニ掲ゲ其射光ハ正首ヨリ左右各舷正
 横後ノ二點マデ十點ヅ、ヲ照シ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表
 示イタシマス

問 増掲ノ白燈ハ表示スルト否トハ隨意ナルカ

答 左様掲ゲルト掲ゲザルトハ適宜デアリマス

問 若シ夫レヲ掲ゲルトキハ如何ナル燈ヲ如何ニ標示スルカ

答 櫓燈ト同種ノ白燈ヲ龍骨線上前後ニ隔テ前燈ハ後燈ヨリモ十五尺以上
 低クナシ前後ノ間隔ハ上下ノ間隔ヨリモ多ク離シテ表示シマス

問 増掲ノ白燈ハ櫓燈ト同様ニ船幅ヨリ低カラズ四十尺ヨリ高カラザル範

圍内ニ掲グベキ譯ナルカ

答 否ナ増掲ノ白燈ハ檣燈ノ前ニ於テ二十尺ヨリ低ク掲グルモ又檣燈ノ後ニ於テ四十尺ヨリ高ク掲グルモ差支アリマセンガ便宜上後ニ掲グルガ普通デス

問 汽船ニ白燈ヲ増掲スルハ何ノ爲ナルカ

答 増掲燈ヲ掲ゲ置ク時ハ僅カニ船首回轉シ未ダ舷燈ニ變化ヲ現サルニ先チ兩白燈ノ位置ニ變化ヲ生ジ船首ノ回轉ヲ他船ニ示ス事ガ出来マス

問 汽船檣燈ヲ掲ゲズ兩舷燈ノミヲ標示シテ航行スル場合アルカ

答 汽力ヲ用ヒズ全ク帆ノミニテ航行スルトキ及ビ他船ニ曳カレテ運行スルトキハ帆船ト同様檣燈ヲ掲グル事ナク舷燈ノミヲ標示シマス

問 汽船ニハ船尾燈ヲ掲ゲ置クカ

答 帆船ト同様追越船ニ對シ船尾燈ヲ表示シ置クモ差支アリマセン

問 汽船ハ外ニ何等ノ燈火ヲモ表示スルコトナキカ

答 獨走ノ汽船ハ外ニ何等ノ燈火ヲモ表示スルコトハアリマセス

曳船航行中ノ船燈

問 汽船他船ヲ曳キ夜中航行スルトキハ如何ナル船燈ヲ掲グル規定ナルカ

答 第三條ノ規定ニ依リ兩舷燈ノ外檣燈ヲ掲グル場所ニ檣燈ノ代リニ白燈二個ヲ上下少クモ六尺ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シマス又二艘以上ヲ引キ

其引キタル船ノ船尾ト最後ニ引カルル船ノ船尾トノ距離六百尺以上アルトキハ二個ノ白燈ノ上カ又ハ下ニ六尺ノ間隔ヲ以テ一個ノ白燈ヲ増

掲シ都合三個ヲ連掲シマス

問 白燈三個ヲ連掲スル場合ハ二艘以上ヲ引キタルトキニ限ルカ

答 然リ

問 然ラバ一艘ヲ引キ其ノ引キタル船ノ船尾ト引カル、船ノ船尾トガ六百

尺以上離レ居ルトキハ二個ノ白燈ヲ掲グル譯ナルカ

答 明文上二個ヲ掲ゲ三個ヲ掲ゲママセン

問 白燈三個ヲ連掲スル場合ニハ三個トモ第二條第一項ノ位置即チ二十尺以上四十尺マデノ範圍内ニ掲グベキ譯ナルカ

答 否其内二個ハ二十尺以上四十尺以内ノ範圍内ニ掲グ引船ノ船尾ト引カ

問 引船ニハ他ニ何等ノ燈火ヲモ點ズルノ要ナキカ

答 引カル、船ノ操舵目標トシテ煙突若クハ後橋ノ後面ニ小形ノ白燈一個ヲ掲グルコトガ出來マス

問 其白燈ハ必ズ掲グベキ規定ナルカ

答 掲グルト掲グザルハ隨意デアリマス
問 操舵目標ノ白燈ハ如何ニ掲グルカ
答 第三條第二項但書ニ依リ正横ヨリ前面ニ見得ザル様表示シ置キマス

四十噸未滿ノ小汽船航行中ノ船燈

問 汽船ハ大小ノ差別ナク船燈ノ掲グ方ハ皆一樣ナルカ

答 否四十噸未滿ノ汽船及ビ汽艇ハ第七條第一項及ビ第二項ニ掲グル規定ニ遵フトキハ第二條ノ規定通りノ燈ヲ點スルニ及ビマセン

問 四十噸未滿ノ汽船ハ如何ナル規程ノ船燈ヲ掲グルカ

答 橋燈ハ第七條第一項甲ノ規定ニ依リ船ノ前部又ハ煙突ノ前面ニ於テ舷

緣上九尺ヨリ低カラザル高サニ船首ヨリ左右へ十點ヅ、二十點間ヲ照

スベキ白燈一個ヲ掲グ少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表示シ左右

兩舷ニハ綠紅ノ舷燈ヲ四十噸以上ノ船ニ掲グルト同様ニ掲グ一海裡以

上ノ距離ヨリ見得ベキ様表示シ置クカ左ナクハ右舷ハ綠色左舷ハ紅色

ノ射光ヲ正首ヨリ左右へ十點間ヲ照スベキ様製造シタル兩色燈ヲ橋燈

問 汽艇ノ同様にナルカ將異ナリタル規定アルカ
答 汽艇ノ橋燈ハ舷縁上九尺以上ニ掲ゲ難キ場合ハ九尺以下ニ掲ゲテモ差支ナシ而シテ兩舷燈ノ代リニ用フル兩色燈ハ白燈ヨリ低ク表示シ置ケバ差支アリマセン

水先船ノ船燈

問 夜中水先船ハ如何ナル船燈ヲ表示スルヤ
答 業務ノ爲メ營業所ニアルトキハ第八條第一項ニ遵ヒ周回ヨリ見得ベキ白燈一個ヲ橋頭ニ掲ゲ尙ホ其外十五分ヨリ多カラヌ間合ニ閃火一ツカ又ハ二ツモ三ツモ光ラシテ見セマス

問 水先船ニハ舷燈ヲ點ズルコトナキカ
答 夫レハ常ニ表示シ置カズニ點火シテ手近ニ構ヘ置キテ我船他船ニ近寄り行クトキハ我船ノ進行スル方向ヲ知ラスル爲メ一寸表ハシテ見セマ

ス此時綠ノ光リハ左舷ヨリ見エズ紅ノ光リハ右舷ヨリ見エザル様ニ注意セネバナリマセン(第八條第二項)

問 水先船ハ皆同様に燈火ヲ表示スベキモノナルカ
答 水先ヲ要スル船ニ直付スル水先船ト水先人ノ専用スル汽船ト夫々表示

問 水先人ヲ要スル船へ直付ケスル水先船ノ船燈ハ如何ニ表示スルヤ
答 水先人ヲ要スル船へ直付スル船ハ白燈ヲ橋頭ニ掲ゲ置カズ夫レヲ點火

シテ手近ニ構ヘ置キ隨意ニ出シテ見セ又舷燈ノ代リニ一面ハ綠色一面ハ紅色ノ玻璃ヲ用キタル兩色燈等ヲ點火シ置キテ我船他船ニ近寄行クトキハ他船ニ我ガ進行スル方向ヲ示ス爲ニ表シマス(第八條第三項)

問 水先人ガ専用スル汽船ハ如何ニ船燈ヲ表示スルヤ
答 水先人ノ専用スル汽船業務ノ爲メ營業所ニ在リ碇泊セザル時ハ橋頭ニ

白燈ヲ掲ゲ閃火ヲ發スルノ外ニ其白燈ノ下八尺ノ所ニ周回二海里以上

ヲ照ス紅燈一個ヲ増掲シ其外ニ兩舷燈ヲモ表示シ置カネバナリマセン

(第八條第四項)

問 若其汽船碇泊シテ客ヲ待チ居ルトキハ如何ナル燈ヲ點ズルカ

答 其時ハ白紅燈ト閃火ヲ表スノミニテ舷燈ヲ表シマセヌ (第八條第五項)

問 水先船ハ客待ヲセザルトキト雖モ同一ノ船燈ヲ表示スベキ譯ナルカ

答 客待ヲセザルトキハ其積量ニ應ジタル普通船ノ船燈ヲ表示セネバナリ

マセン (第八條末項)

漁船ノ燈火

問 漁船點燈ノ仕方ハ普通船ト同様ナルカ

答 無甲板船ガ單ニ漁業ニ従事シ居ルトキ無甲板船ニアラザル船ナレバ流

シ網延繩打タセ網桁網等ノ區別ニヨリ又汽船帆船ノ種別ニ從ヒ夫々點

燈ノ仕方ガ違ヒマス

問 漁具ヲ放出シアル船ハ如何ニ點燈ヲナスヤ

答 甲板ヲ張詰メザル船漁具ヲ放出シ其弘ガリ居ル場所百五十尺以内ナル

トキハ四方ヨリ見ユル白燈一ツヲ掲ゲ置キマス (第九條一)

問 若其漁具ノ弘ガリハ百五十尺以上ノ場所ヲ取り居ル時ハ如何ニ違ヒタ

ル點燈ヲナスヤ

答 周圍ヨリ見ユル白燈一ツヲ掲ゲ置キ他船ノ近寄り來ルカ自分ノ船他船

ニ近寄り行クトキハ其白燈ヨリ下方へ少クモ三尺漁具ノアル方へ少ク

モ五尺ヲ離シテ筋違ニ表示シテ見セマス (同前)

問 流シ網ヲナシ居ル船ハ如何ナル點燈ヲナスヤ

問 甲板ヲ張り詰メタル船ナレバ網ノ全部ヲ水中ニ入レ置キテモ又其一部

ヲ入レ置キテモ同様ニ最モ見易キ所ニ周回三海里以上ヲ照ス白燈二個

ヲ筋違ニ掲ゲマス (第九條二)

問 其掲ゲ方ハ如何ニナスヤ

(船燈)

上下ハ六尺以上十五尺以内ニ横ハ五尺以上十尺以内ニ掲ゲ下燈ハ網ノ

有ル方ニ表示シマス (同前)

其船無甲板船ナレバ如何

問 甲板ヲ張詰メザル船ト同一ニナシマス (同前)

問 流シ網ノ船ハ積量ニヨリ表示ノ仕方ニ違ヒナキヤ

答 總積量二十噸未満ナレバ帝國沿海並ニ朝鮮沿海及地中海ニ於テハ前ノ

兩燈中ノ下ノ燈ハ常ニ表示シ置ズシテ他船ガ我船ニ近寄來ルカ我船他

船ニ近寄り行クトキハ一海里以上ノ距離ヨリ見ユベキ白燈ヲ漁具ノ有

ル方へ筋違ニ表示シマス 其間隔ハ前ト同様ニナシマス (同前)

問 延繩ヲ用キ居ル船ハ如何ナスヤ

答 無甲板船ナレバ漁具ノ弘ガリ百五十尺内外ニヨリ表示ヲ異ニスルノミ

ナレドモ其他ノ船ニシテ延繩ヲナシ居ル船ハ延繩ヲ結着シ又曳入ル、

船碇泊セズ漁具ガ岩礁杯ニ纏ヒテ停留シ居ラザルトキハ流シ網ヲナシ

居ル船ト同ジ様ニ點燈ヲナシ若シ其延繩ヲ延ツ、アリ又ハ曳繩ヲ用フ

ルトキハ汽船帆船ノ種別ニ從ヒ航行中ノ燈火ヲ表示シマス (第九條三)

問 若シ其船二十噸未満ノ帆船ナレハ別ニ點燈ノ仕方ニ違ハナキヤ

答 地中海ヤ日本及ビ朝鮮ノ沿海ニテハ筋違ニ掲グル兩燈中下ノモノハ他

船ニ近寄ルトキ都度表示シテモ差支ナシ (同前)

問 打タセ網其他漁具ヲ海底ニ曳クモノハ如何ニ點燈ナスヤ

答 夫レハ汽船ト帆船トニテ違ヒマス (第九條四)

問 汽船ナレバ如何ナスヤ

答 普通汽船ノ檣燈ヲ掲グル位置ニ二海里以上ヲ照ス三色ノ燈籠一個ヲ掲

ゲ尙其下方六尺以上十二尺ノ範圍内ニ周回ヨリ見ニル白色ノ燈一個ヲ

増掲シマス

問 三色ノ燈籠トハ如何

答 正面正首ヨリ左右へ各二點ノ四點間ハ白色ニシテ其レヨリ左右各正横

後ノ二點マデハ右ハ綠色左ハ紅色ノ射光ヲ及ボスベキモノデアリマス

問 其打タセ網ヲ用フル漁船ガ帆船ナレバ如何ニ點燈スルヤ

答 少ナクモ二海里四方ヨリ見ユル白色ノ燈籠一個ヲ掲ゲ置キ他船ト接近

シタルトキハ白色ノ閃火又ハ炬火一個ヲ表示シマス (第九條四乙)

問 桁網ヲ用ヒ居ル船ハ如何ナル點燈ヲナスヤ

答 打タセ網ヲ用フルモノト同様ニ表示シマス (第九條五)

問 漁船ハ此規定外ニ一切他ノ燈火ヲ用フルコト叶ハヌ譯ナルヤ

答 此規則ニヨリ揭示スル燈ノ外漁業用ノ燈火及ビ閃火ハ何時用ヒテモ差

支アリマセス (第九條六)

問 漁船碇泊中ハ如何ニ點燈スルヤ

答 普通碇泊船ト同様デアリマス然シ漁具或ハ網ヲ結着シアル時ハ白燈ノ

三尺以上下方漁具ノアル方ニ五尺以上離シテ筋違ニ白燈一個ヲ増表シ

マス (第九條七)

問 漁船漁具ノ岩礁或ハ他ノ障礙物ニ纏着タル爲メ停留スレバ如何ナスヤ

答 夜間ハ碇泊船ト同一ノ燈火ヲ掲ゲマス

問 網延繩又ハ打セ網ヲ用ヒ居ル船夜間ハ夫々點燈ヲナスモ晝ハ如何ナル

表示ヲナスヤ

答 最モ見易キ處ニ籃又ハ他ニ適宜ノ信號ヲ掲ゲ漁業中ナル事ヲ示シマス

問 碇泊中漁具ヲ投下シ居ルトキハ如何ナスヤ

答 他船近寄來ルトキ籃或ハ他ノ信號ヲ他船ノ航過シ得ル舷側ニ出シテ示

シマス (第九條十)

問 漁船運轉自由ヲ得ザルカ又ハ坐礁等ノ場合ニハ如何ナスヤ

答 第四條一項ノ表示及ビ航路若クハ其最寄乗場ノ信號ヲナスニ及ビマセン

事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船ノ表示

問 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船舶ハ夜間如何ナル船燈ヲ揭示スルカ

答 第四條第一項ノ規定ニ依リ汽船ナレバ白燈ヲ引下ゲ其代リニ帆船ナレバ汽船ノ白燈ヲ掲グベキ所ニ二個ノ紅燈ヲ上下ニ少クモ六尺ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シ周廻少クモ二海里ノ距離ヨリ見得ベキ様表示シ置キマ

問 然ル場合ニハ舷燈ヲ點ザルカ

答 然ル場合ニハ舷燈ヲ點ザルカ

問 全ク運行セザルトキハ掲ゲザレドモ少シニテモ運行スルトキハ舷燈ヲ掲ゲ置キマス(第四條第二項)

問 運轉自由ヲ得ザル船ノ運行スルトキハ如何ナル場合ヲ云フカ

答 舵ヲ失ヒ航行シ居ル如キ場合ヲ云ヒマス

問 其ノ時潮又ハ風ニ流レ居ルトキハ舷燈ヲ點スルカ

答 夫レハ運航デアリマセンカラ表示シマセヌ

問 然ラバ運航トハ如何ナル場合ヲ云フカ

答 自己ノ推進器ヲ用ヒテ動キ居ル場合即チ帆船ナレバ不完全ナガラモ帆

問 ニ風ニ入レテ動キ汽船ナレバ機關ヲカケテ動キ居ルトキヲ云ヒマス

問 晝間ハ如何ナル表示ヲナスカ

答 同條第一項ノ規定ニ依リ直徑二尺ノ黒球若クハ黒色ノ形象二箇ヲ上下ニ少クモ六尺ヲ隔テ連掲イタシマス

海底電信工事ニ従事スル船舶ノ表示

問 海底電信線ノ布設又ハ引揚ゲニ従事スル船舶ハ夜間如何ナル船燈ヲ掲グルカ

答 第四條第二項ノ規定ニヨリ汽船ナレバ最モ見得易キ所ニ上下ノ二箇ハ紅色中央ノ一箇ハ白色ノ三燈ヲ六尺以上ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シ少クモ周回二海里以上ノ距離ヨリ見得ベキ様掲ゲマス(第四條第二項)

問 其場合ハ舷燈ヲ掲グルコトハナキカ

答 少シタリトモ運行スルトキハ舷燈ヲ掲ゲ置ベキ規定デアリマス(第四條第三項)

問 其船晝間ハ如何ナル表示ヲナスカ

答 最モ見得易スキ所ニ上下ノ二箇ハ紅色ノ球形其中央一個ハ白色ノ豎菱

形ノモノヲ六尺以上ノ間隔ヲ以テ縦ニ連掲シマス

問 海難ニ罹リ運轉自由ヲ得ザルトキハ紅燈二箇ヲ表示シテ差支ナキカ

答 其信號ハ他船ノ航路ヲ避ケ能ハザル意ヲ表示スルモノニテ救助ヲ求ムル

難船信號トハ自カラ異リマス難船信號ノ場合ナレバ第三十一條ノ規定

ニ依ラネバナリマセヌ

問 四十噸ニ足ラヌ汽船二十噸以内ノ帆船ガ運轉自由ヲ得ザルトキ又航路

ノ最寄ニ擱座シ居ル場合モ同様ノ表示ヲナサネバナラヌカ

答 左様ナ小船及ビ汽艇並ニ櫓權ヲ以テ運轉スル船ハ別段表示ヲナスニハ

及バヌト規定シテアリマス (第七條末項)

問 他船ニ追及カレ衝突ノ危険アル場合ニハ如何ナスベキカ

答 船尾ニ白燈ヲ表示スルカ又ハ閃火ヲ發シマス (第十條)

問 其白燈ハ臨時其都度表示スベキモノナルカ

答 豫テ船尾ニ掲ゲ置クモ差支アリマセン

問 若シ其レヲ掲置クニハ如何ニ表示シ置クカ

答 第十條第二項ノ規定ニ依リ眞艦ヨリ左右へ各六點ヅ、十二點間ヲ照ス

ベキ様隔板ヲ成ベク兩舷燈ト同ジ高サニ船尾ニ取附ケ其内ニ掲ゲテ少

クモ一海里ノ距離ヨリ見得ベキ様ナシ置キマス

問 追越船ニ限ラズ凡テ他船ノ注意ヲ喚起セントスルトキハ如何ナルコト

ヲナスカ

答 第十二條ノ規定ニヨリ船燈ノ外尙閃火ヲ發シマスソレデモ他船無頓着

ナルトキハ難船信號ニ紛ハシカラヌ様爆裂信號ヲナシマス

問 其爆裂信號トハ如何ナル信號ナルカ

答 難船信號ニ用フル榴彈ヲ用イテ差支ナシ夫故之ヲ用フルトキ難船信號

ト混同セヌ様ナサネバナリマセンガ商船テハ汽笛汽角或ハ號角其他ノ

音響ヲ發シテ喚起信號ヲ行フテオリマス

船燈識別

問 夜間航行中船首ニ方リ綠紅ノ兩舷燈ヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 二海里以内ノ距離ニ在リ我船ニ正面スル帆船ト認メマス

答 夜間航行中前面ニ綠燈一個ヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 帆船ガ二海里以内ノ距離ニ在リ我船ノ前面ヲ右舷ニ横切リ行クモノト

思ヒマス

問 夜間航行中前面ニ紅燈一個ヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 二海里以内ニ在ル帆船ガ前面ヲ左舷ニ横切ルモノト思ヒマス

問 夜間航行中前面ニ白綠紅ノ三燈ヲ見タル時ハ何船ナリヤ

答 我船ト幾ンド眞向ニ出會スル汽船ト思ヒマス

問 其距離ハ幾許アルト思フヤ

答 一海里乃至二海里ノ距離ニ接近シタルモノト思ヒマス

問 何ニ因テ夫ヲ知ルカ

答 大船ノ舷燈ハ第二條ノ規定ニ依リ二海里ノ距離ニ見得ベク四十噸未満

ノ汽船ノ舷燈ハ第七條ノ規定ニヨリ一海里ノ距離ヨリ見得ベキ筈デア

リマス

問 白燈二個縦ニ相連リ見ユルトキハ何船ナリヤ

答 舷燈ノ見得ザル遠距離ニ在ル増掲燈ヲ掲ゲタル汽船若クハ曳船ヲナス

問 汽船ノ正面ヲ見ユルモノト思ヒマス

答 白燈三個ナルトキハ如何ナル船ナリヤ

問 其白燈同間隔ナルトキハ數艘曳船ヲナシ引キタル船ノ船尾ト最後ニ引

カル、船ノ船尾トノ距離六百尺以上ナル曳船汽船ガ二海里以外ニ在テ

我ニ正面シタルモノト思ヒマス

問 二個ノ紅燈縦ニ連掲スルヲ見タルトキハ何船ナリヤ

〔船燈識別〕

答 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船舶ト思ヒマス

問 紅白紅ノ三燈縦ニ連掲スルヲ見タルトキ何船ナリヤ

答 海底電信線ノ布設若ハ其引揚ゲニ從事シテ動キ能ハザル船舶ト思ヒマス

問 紅紅白ノ三燈縦ニ連掲スルヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 航路ノ近傍ニ攔坐シ居ル船舶ト思ヒマス

問 白紅紅ナルトキハ如何

答 矢張航路若ハ其最寄りニ乗揚ゲ居ル船舶ト思ヒマス

問 白燈ヲ二紅燈ノ上ニ掲グルモ下ニ掲グルモ同様ノ信號デアルカ

答 白燈ト二紅燈ハ連掲スルモノニアラズ且ツ掲グベキ高サ異ナル故白燈

ハ二紅燈ノ上ニ見ユルコトモ下ニ見ユルコトモアルベキ筈デアリマス

問 故ニ同様ノ信號ト思ヒマス

答 白燈ノ下ニ當リ綠燈アルヲ見タルトキハ何船ナリヤ

問 二海里以内ヲ航行スル汽船ノ右舷ヲ見ルモノト思ヒマス

問 白燈下ニ紅燈ヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 二海里以内ニ在ル汽船ノ左舷ヲ見ルモノト思ヒマス

問 綠紅燈ノ上ニ當リ連掲ノ白燈二個アルヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 増掲燈ヲ標示シテ獨走スル汽船若ハ曳船ヲナス汽船ノ正面ヲ二海里以

内ニ見ルモノト思ヒマス

問 獨走スル汽船ノ増掲燈ト曳船ヲナス汽船ノ燈トハ如何ニ區別スルカ

答 側面ヨリ見ルトキハ兩白燈ノ連掲ト否トニテ容易ニ識別スルヲ得レト

問 其異ナル點ハ如何

答 曳船燈ノ間隔ハ少クモ六尺増掲燈ノ間隔ハ十五尺以上ナル故其間隔狭

キハ曳船ニシテ廣キハ増掲燈デアリマス

問 曳船ナルヤ否ヤヲ識別スルニ外ニ注目スルコトナキヤ

答 曳船ナレバ其船尾ニ當リ引カル、船ノ舷燈ヲ認メラレマス

問 緑紅燈上ニ連掲セル白燈三個アルヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 二艘以上ノ曳船ヲナシ其引キタル船ノ船尾ト最後ニ引カレタル船ノ船尾トノ距離六百尺以上アル汽船ノ正面ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒ

マス

問 連掲セル紅燈二個ノ下ニ緑紅燈ヲ見タルトキハ如何

答 事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル爲メ他船ノ航路ヲ替シ能ハザルコトヲ標

示シ居ル船舶デアリマス

問 兩舷燈上ニ紅白紅三燈ノ連掲ヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 海底電信線ノ工事ニ掛リ居ル船ノ正面ヲ見ルモノト思ヒマス

問 二白燈下ニ緑燈アルヲ見タルトキハ如何

答 白燈上下筋違ナルトキハ増掲燈ヲナシタル汽船ニテ縦ニ一連ナリ見ユ

問 ルトキハ曳船ヲナス汽船ノ右舷ヲ二海里以内ニ見ルモノト思ヒマス

問 紅燈上ニ白燈二個アルヲ見タルトキハ如何

答 増掲燈ヲ標示スル汽船若クハ曳船ヲナス汽船ノ左舷ヲ見ルモノト思惟

シマス

問 緑紅燈上ニ二白燈アリ上ナル白燈少シク右方ニ偏テ見ユルトキハ如何

ナル状態ノ船ト思フカ

答 増掲燈ヲ標示シタル汽船我船ニ面シテ少シク右轉シタルモノト認メマ

ス

問 白燈三個ノ下ニ緑燈アルヲ見タルトキハ如何

答 數艘ヲ引キタル汽船ノ右舷ヲ見ルモノト思ヒマス

問 紅燈ノ上ニ連掲ノ三白燈ヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答 數艘ヲ引キタル汽船ノ左舷ヲ見ルモノト思ヒマス

問 緑燈ノ上ニ連掲ノ二紅燈ヲ見タルトキハ何船ト思フカ

答 運轉自由ヲ得ズ他船ヲ替スコト能ハザル船ノ右舷ヲ二海里以内ニ見ル

モノト思ヒマス

問 紅燈ノ上連掲ノ紅燈二個アルヲ見タルトキハ何船ナリヤ
答 運轉自由ヲ得ズ他船ノ航路ヲ避能ハザル船ノ左舷ヲ二海里以内ニ見ル

問 紅白紅ノ三燈連掲ノ下ニ綠燈アルヲ見タルトキハ如何
答 海底電信線ノ工事ニ掛リ進行シツ、アル船ノ右舷ヲ二海里以内ニ見ル

問 縦ニ連リタル紅白紅燈ノ下ニ紅燈ヲ見タルトキハ如何
答 海底電信線ノ布設若クハ引揚ニ従事スル船ノ左舷側ヲ二海里以内ニ見ル

問 白燈一個ヲ見タルトキハ何船ト思フカ
答 白燈一個ヲ表示スルハ種々アルニヨリ一見輕忽ニ斷定スルコト能ハズ

問 須臾ク其ノ狀況ヲ注視シテ判斷イタシマス
答 白燈一個ヲ表示スルハ何船ナルヤ

問 長サ百五十尺未満ノ碇泊船水先區内ニ在リ營業ニ従事スル水先船檣權
ヲ以テ運轉スル小船ノ船燈漁船ノ燈籠追越船ニ對シテ表示シタル船尾
燈等ニテ舷燈ノ見得ザル遠距離ニアル汽船ノ檣燈ヲモ左様ニ見ユルコ
トガアリマス

問 其判別ハ如何ニナスカ
答 碇泊燈ハ接近シ行クニ從ヒ必ズ其方位ニ變更アリ水先船ハ營業區域外
ニ在ルコトナク又五十分時以内ノ間隙ニハ閃火カ見ユベキ筈若シ航行
船ノ船尾燈ナレバ接近スルニ從ヒ其方位變更スルガ我ト針路速力ヲ同
フスル船ナレバ方位ニ變更ナク亦其距離モ接近スルコトナシ方位變更
セズ接近シ來ルモノハ舷燈見得ザル獨走汽船ノ檣燈否ラザレバ小船ノ
航走スル船燈カ又ハ前面ヲ斜メニ横切リツ、アル船ノ船尾燈ノ外アリ
マセン然ルニ舷燈ノ見エザル汽船ナレバ接近シ來ルトキハ必ズ舷燈ヲ
認ムベキニヨリ方位變更セズ接近シタル白燈ハ檣權ヲ用フル小船ノ燈

火ノ外アリマセス

問

緑燈ノ筋違ニ白燈ヲ見タルトキハ何船ナリヤ

答

打セ網ヲナシ居ル汽船ノ右舷面ヲ見ルモノト思ヒマス

問

紅燈ノ筋違ニ白燈ヲ見タルトキハ何船ナルヤ

答

打セ網ヲナシ居ル汽船ノ左舷ヲ見タルモノナリ

問

船首ニ方リ閃火ヲ見タルトキハ如何

答

我船ニ追及セラル、船力我ニ向テ注意ヲ喚起スルモノト思ヒマス

問

夜間ハ點燈ノ仕方ニヨリ事變ノ爲メ運轉自由ナラザル船ト海底電信線

ノ工事ニ掛リ居ル船ヲ識別スルヲ得レドモ晝間ハ如何ナル標示ニヨリ

識別スルカ

答

事變ノ爲メ運轉自由ヲ得ザル船舶ハ第四條第一項ノ規定ニヨリ他船ヨ

リ最モ見エ易キ所ニ直徑二尺ノ黒球若ハ黒色ノ形象二個ヲ上下ニ少ク

モ六尺ヲ隔テ縦ニ連掲シテ表示シマス

問

海底電信線布設又ハ引揚ゲニ從事スル船ハ如何ナル表示ヲナスカ

答

第四條第二項ニ依リ最モ見得易キ所ニ直徑二尺以上ノ形象三個ヲ上下

ニ少クモ六尺ヅ、ヲ隔テ連掲シ其上下ノ二個ハ紅色球形中央ノ一個ハ

白色ノ堅菱形ヲ用ヒマス

問

其他晝間ノ標示ハナキカ

答

汽船帆ノミヲ用ヒ汽力ヲ用ヒズ運轉シ居ルトキ烟突ヲ引下ゲザレバ第

十四條ノ規定ニヨリ前方ノ最モ見得易キ所ニ直徑二尺ノ黒球若クハ黒

色ノ形象一個ヲ掲ゲマス

問

夜間ハ點燈ニヨリ他船ノ状態ヲ判知シ得ベキモ霧中雪降等ニテ咫尺ヲ

辨ゼザルトキハ如何ニシテ他船ノ近寄ルコトヲ識ルカ

答

霧中雪降暴雨中ハ霧中信號ニヨリ推知スルノ外アリマセン

霧 中 信 號

問 霧 中 信 號 ト ハ 何 事 ナ ル カ

答 霧 中 降 雪 其 他 暴 雨 中 ハ 晝 夜 ノ 別 ナ ク 豫 防 法 第 十 五 條 ノ 規 定 ニ 遵 フ ベ キ

問 合 圖 デ ア リ マ ス

答 其 合 圖 ハ 何 ヲ 以 テ 如 何 ナ ル コ ト ヲ ナ ス カ

問 汽 船 ニ テ ハ 汽 笛 若 ハ 汽 角 ト 號 鐘 ヲ 用 ヒ 帆 船 ニ テ ハ 霧 中 號 角 ト 號 鐘 ヲ 用

ヒ マ ス

問 汽 船 ニ 用 フ ル 汽 笛 汽 角 ト ハ 如 何 ナ ル モ ノ ナ ル カ

答 蒸 汽 ノ 力 ニ テ 鳴 ラ ス 笛 ト 汽 角 デ ア リ マ ス 而 シ テ 其 ハ 煙 筒 ノ 前 面 ニ 於 テ

音 響 ノ 妨 ゲ ナ キ 適 當 ノ 高 サ ニ 取 附 ケ タ ル モ ノ デ ア リ マ ス

問 號 鐘 ト ハ 何 ナ ル カ

答 船 舶 ニ 於 テ 平 常 時 ヲ 報 ズ ル 爲 メ 鳴 ラ ス 鐘 ノ コ ト デ ア リ マ ス

問 帆 船 ニ 用 フ ル 霧 中 號 角 ト ハ 如 何 ナ ル モ ノ デ ア ル カ

答 四 秒 乃 至 六 秒 間 發 生 ス ベ キ 構 造 ノ モ ノ ニ テ 其 音 響 ハ 一 海 里 以 上 ニ 達 ス

問 ル モ ノ デ ナ ケ レ バ ナ リ マ セ ン

問 帆 船 ニ 用 フ ル 號 鐘 ト ハ 如 何 ナ ル モ ノ ナ ル カ

答 汽 船 ト 同 様 ノ モ ノ ヲ 用 ヒ マ ス

問 汽 笛 汽 角 及 ビ 號 鐘 ハ 如 何 様 ニ 使 用 ス ル カ

答 汽 笛 汽 角 ハ 汽 船 航 行 中 第 十 五 條 第 一 項 第 二 項 第 五 項 ニ 依 リ 使 用 シ 號 鐘

問 ハ 同 條 第 四 項 ニ 依 リ 碇 泊 中 ニ 使 用 シ マ ス

問 汽 船 單 獨 航 行 中 ハ 如 何 ナ ル 信 號 ヲ ナ ス カ

答 進 行 中 (後 退 中 モ) ナ レ バ 二 分 時 間 ヲ 多 カ ラ ザ ル 間 隙 ヲ 以 テ 長 聲 ヲ 一 發

シ 若 シ 運 轉 ヲ 止 メ 速 力 ヲ 保 タ ス ト キ ハ 前 同 間 隙 ニ 長 聲 二 發 ヲ 鳴 ラ シ マ

問 機 關 ヲ 停 止 シ テ 後 チ 速 力 ノ 有 無 ハ 何 ニ ヲ リ テ 知 ル カ

【霧 中 信 號】

答 舵効ノ有無ニヨリ知リマス

問 長聲トハ如何程長キ發聲ナルカ

答 四秒乃至六秒間ノ發聲ト規定シテアリマス

問 長聲二發ノ間隙ハ如何程ナルカ

答 大約一秒時タルヲ要スト規定シテアリマス

問 號鐘ハ如何ニ鳴スカ

答 船舶碇泊中ハ一分時ヨリ多カラザル間隙ニ大約五秒時間劇シク鳴シマ

ス

問 帆船ノ霧中號角ハ如何ニ鳴スカ

答 航行中第十五條第三項ノ規定ニ從ヒ一分時ヨリ多カラザル間隙ニ右舷

開ニ風ヲ受ケ居ルトキハ一聲左舷開ニ風ヲ受クルトキハ二聲正横後ニ

風ヲ受クルトキハ三聲ヲ連發シマス

問 上荷船間船ノ如キモノモ同様ノ信號ヲナスカ

答 總積量二十噸ニ足ラザル帆船ハ一分時ヨリ多カラザル間隙ニ適宜ノ音

響信號ヲスレバ大船ト同様ノ霧中號角號鐘ヲ用ウルニ及ビマセン

問 左様ノコトハ豫防法ニ規定シテアルカ

答 第十五條ノ末項ニ規定シテアリマス

問 適宜ノ音響信號トハ如何ナル合圖ナルカ

答 能ク音響ノ聞ユルモノナラバ何ニテモ差支ナシ假令竹ノ筒ヲ吹クモ素

板ヲ鳴ラスモ適宜デアリマス

問 石數船ハ規定ノ霧中信號ヲナスベキモノト適宜音響信號ヲ爲シテ差支

ナキモノ、區別ハ如何シテ定ムルカ

答 第三十二條ニヨリ十石ヲ以テ一噸ト通算シテ二十噸ニ滿タザルモノハ

適宜ノ音響信號ヲナシテ差支ナキモノデアリマス

問 霧中漁業ニ従事スル船ハ如何ナル信號ヲナスヤ

答 二十噸未滿ナレバ一分時ヨリ多カラザル間合ニ良ク聞ユル適宜ノ音響

〔霧中信號〕

信號ヲナスノミニテ可ナレドモ總積量二十噸以上ナレバ汽船ハ汽笛若クハ汽角帆船ナレバ號角ヲ以テ一分時間ヨリ多カラヌ間合ニ一聲ヲ發シ續テ號鐘ヲ鳴ラシマス

問

霧中ニハ以上ノ信號ノ外他ニ異リタル信號ヲ爲スコトナキカ

答

他船ヲ曳キ運行スル船海底電信線ノ布設又ハ引揚ニ從事シ居ル船其他

運轉自由ヲ得ザル船ハ二分時ヨリ多カラザル間隙ヲ以テ長短々々ノ三聲

ヲ發シテ他船ト區別シマス

問

長短々々ノ三聲トハ如何ナル發聲ナルカ

答

四秒乃至六秒ノ長聲ヲ一發シ約一秒ノ間隙ニ短聲二發ヲ續ケ都合三連

聲ヲ發スルコトデアリマス

問

短聲トハ如何ナル發聲ナルカ

答

大約一秒時ノ發聲デアリマス

問

長短々々ノ三連聲ハ何ヲ使用スルカ

汽船ナレバ汽笛或ハ汽角ヲ用ヒ帆船ナレバ霧中號角ヲ用ヒマス

總積量二十噸未満ノ帆船ナレバ其信號ハ如何ニナスヤ

小船ハ左様ノ信號ヲナスニ及ビマセン

霧中雪降り又ハ暴雨ノトキハ霧中信號ヲナス外尙ホ警戒スベキコトナ

キカ

第十六條ノ規定ニ依リ其時ノ様子ニ從ヒ汽船ナレバ汽力ヲ緩メ帆船ナ

レバ帆ヲ減シテ程宜キ速力ヲ以テ進行シマス

現時ノ狀況トハ如何ナル狀況カ

霧ノ濃淡航路ノ難易風潮等ノ有様デス

汽船航行中眞横ヨリ前ニ方リ他船ノ霧中信號ヲ聞タルモ其所在確ト分

リ難キトキハ如何ナル警戒ヲナスカ

左様ノ場合ニハ成ベク機關ノ運轉ヲ止メ全ク衝突ノ虞ナキニ至ルマデ

注意シテ運航スベシト第十六條ニ規定シテアリマス

問 帆船ニ於テ他船ノ霧中信號ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ
答 其レハ何船ノ信號ナルカヲ考ヘ次ニ如何ナル状態ニアルカヲ判断シマ

問 霧中航行中船首ニ方リ汽笛長聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナル船ト思
惟スルカ
答 航行中ノ汽船ト思ヒマス

問 霧中航行中船首ニ知リ汽角ノ二長聲ヲ聞キタルトキハ如何ナル船ト思
惟スルカ
答 航行中ノ汽船運轉ヲ止メテ速力ヲ有タサルモノト思ヒマス

問 霧中航行ニ際シ前面ニ方リ長短々々ノ汽笛三連聲ヲ聞キタルトキハ如何
ナル船ト思惟スルカ
答 他船ヲ曳キテ運行スル船舶若クハ海底電信線ノ工事ニ掛リ居ル船舶又

ハ運轉自由ヲ得ズシテ近寄來ル他船ノ航路ヲ避ケ能ハザルカ又ハ本法
ニ遵テ運轉シ能ハザル船舶ト思ヒマス

問 若其長短々々ノ三聲ハ霧中號角ナルトキハ如何ナル船ト思惟スルカ
答 帆船ガ運轉自由ヲ得ズ又ハ他ノ事故ニテ本法ニ遵テ運轉シ能ハザルノ
信號ヲナシ居ルモノト思ヒマス

問 霧中航行ノトキ前面ニ方リ霧中號角一聲ヲ聞キタルトキハ如何ナル船
ト思惟スルカ
答 右舷開ニ航行スル帆船ト思ヒマス

問 霧中航行前面ニ方リ霧中號角二聲ノ信號ヲ聞キタルトキハ如何ナル
船ト思惟スルカ
答 帆船ガ左舷正横前ノ風ヲ受クルモノト思ヒマス

問 號角三聲ナレバ如何
答 風ヲ正横後ニ受ケ航行スル帆船ト思ヒマス

問 霧中劇シキ號鐘ヲ一分間以内ノ間隙ニ鳴ルヲ聞キタルトキハ何船ト思
惟スルカ

惟スルカ

碇泊シ居ル船舶ト思ヒマス

霧中信號ヲ聞キ如何ナル状態ニ接近シ來ルカヲ推知スルコトヲ得ルカ

帆船ハ風ノ受ケ方ニヨリ信號ガ異ナルニヨリ其船ノ取ルベキ針路ノ區域ヲ推知スルコトガ出來マス

夫レハ如何ナル法ニヨルカ

右舷開ニ風ヲ受クレバ一聲左舷開ニ受クレバ二聲真横後ニ風ヲ受クレ

バ三聲ヲ鳴ラスニヨリ一聲ヲ發スル船ノ針路ハ風位ニ向ヒ左方へ六點

ト八點トノ二點間、二聲ヲ發スル船ノ針路ハ風位ニ向ヒ右方へ六點ト八

點ノ二點間三聲連發スル船ノ針路ハ風位ノ反對點ヨリ左右へ約八點ヅ

、十六點間ノ區域ニ向テ航行スルモノト推定シマス

東風ヲ受ケ航走中前面ニ方リ霧中號角一聲ヲ聞キタルトキハ他船ハ如何

ナル方向ニ航行スルカ

何ナル方向ニ航行スルカ

答 風位ヨリ左リへ六點目ノ北々東ヨリ八點目ノ北迄二點間ノ區域内ニ針

路ヲ取り航行スル帆船デアリマス

問 東風ニ航行中前面ニ方リ霧中號角二聲ヲ聞キタルトキハ其他船ハ如何

ナル針路ニ航行スルモノナルカ

答 風位ヨリ右へ六點目ノ南々東ヨリ八點目ノ南迄二點間ニ航行スルモノ

デアリマス

問 東風ヲ受ケ北ニ向テ航行中前面ニ方リ霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ

其他船ハ如何ナル方向ニ航行スルモノナルカ

答 風位ノ反對點西ヨリ左右約八點即チ北少シク西ヨリ南少シク西迄ノ間

ノ針路ヲ取り航行スルモノト思ヒマス

問 夜間ハ點燈ニ由リ霧中ハ信號ニ由リ近寄り來ル他船ノ状態ヲ判知シタ

ルトキハ次ニ如何ナルコトヲナスカ

答 互ニ接近シ衝突ノ虞アル場合ニハ本法航方ニヨリ他船ヲ替スベキ義務

アル船ハ速カニ他船ヲ替スベキ措置ヲナサネバナリマセン

航方

問 兩船互ニ接近スルトキ衝突ノ危険ナルヤ否ヤヲ豫知セントスルニハ如何スルカ

答 先ヅ近寄り來ル他船ノ方位ヲ看守シ其方位少シモ變更セズ漸々接近シ來ルヲ認ムルトキハ兩船ハ互ニ衝突點ニ會合スル針路ニ進航シ來ルモノデアリマス

問 接近シ來ル他船ノ方位ヲ看守スルニハ實地如何ニナスカ

答 船首振回ラス様針路ヲ眞直ニ保チ「リギン」或ハ「オー」ニング、スタンシヨ
ン」等ヲ標準トシテ方位ヲ看守イタシマス

問 二艘ノ帆船互ニ近寄り衝突ノ虞アル場合ニハ如何ナル船ガ航路ヲ避クベキモノナルカ

答 帆船ハ風ノ受ケ方ニヨリ權利船ト義務船トニ區別シ權利船ハ其儘航路

速力ヲ保テ進行シ義務船ハ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセス

問 帆船ノ義務船トハ如何ナル船ヲ指スカ

答 第十七條ノ各項ニ該當スル船デアリマス

問 第十七條ノ各項ハ如何ナルコトヲ規定シテアルカ

答 第一項ニハ一杯ニ開カザル船ハ一杯ニ開キタル船ニ對シテ替スベキ義務

アルモノトシ

第二項ニハ左舷ニ一杯開キニナシタル船ハ右舷一杯開キニナシタル船

ニ對シテ替スベキ義務アルモノトシ

第三項ニハ左舷受ケノ一杯ニ開カヌ船ハ右舷受ノ一杯ニ開カヌ船ニ對

シテ替スベキ義務アルモノトシ

第四項ニハ風上手ニアル船ハ風下手ノ同舷ニ風ヲ受ケタル船ヲ替スベ

キ義務アルモノトシ

第五項ニハ船尾ニ風ヲ受ケ居ル船ハ都テ他船ヲ替スベキモノトナシタ

問 船尾風トハ如何

答 別ニ點數ノ定メハアリマセンカ正尾各二點以内ヨリ受クルトキト思ヒ

マス

問 汽船互ニ出會シタルトキハ如何ナル替シ方ヲナスカ

答 正シク眞向又ハ幾ント眞向ニ出會シタルトキト互ニ横切り出會シタル

トキトノ二ツノ場合ニ區別シテ權利船義務船ヲ定メテアリマス

問 兩船眞向ニ出會シタルトキハ如何ナル船ハ他船ヲ替スベキ義務ナルカ

答 眞向幾ント眞向ノ場合ハ第十八條ニ依リ兩船互ニ替シ行カネバナリマ

セヌ

問 夫レハ如何ニ替スカ

答 互ニ針路ノ右轉シテ他船ノ左舷ニ替リ行ク様ナシマス

問 汽船互ニ航路ヲ横切り出會シタルトキハ如何ナル船カ他船ヲ替スベキ

義務アルカ

答 第十九條ニヨリ他船ヲ右舷ニ見ル船ハ他船ノ航路ヲ替サネバナリマセ

ヌ

問 汽船ト帆船ト出會シタルトキハ孰レノ船カ航路ヲ替ス義務アルカ

答 第二十條ノ規定ニヨリ汽船カ帆船ヲ替サネバナリマセヌ

問 義務船ニ於テ航路ヲ替ストキハ權利船ニ於テハ如何ナスカ

答 舵ヲ狂サヌ様其儘針路ヲ守リ速力ヲ保チテ行キマス

問 權利船ハ如何ナル場合デモ針路速力ヲ保ツベキモノデアアルカ

答 第二十一條ノ但書ニハ天氣密濛又ハ其他ノ事故ニ因リ航路ヲ避クル船ノ

處置ノミニテ衝突ヲ避ケ能ハザル程兩船接近シタルコトヲ認ムトキハ

自ラ亦臨機衝突ヲ避タルニ至當ノ處置ヲ爲スベシトアリ又第二十七條

ニハ若シ危險切迫シテ本法ヲ履行シ能ハザル特殊ノ場合ニ於テハ其危

險ヲ避クル爲メ臨機ノ處置ヲ爲スコトニ注意スベシトアルヲ見レバ決シテ絶對的ト云フモノニアラズ場合ニヨリ臨機ノ處置ヲナサネバナリ

マセヌ、シカシ臨機ノ處置ハ輕卒ニシテハナリマセン

他船ノ航路ヲ避クルニ就キ心得置クベキ規定アルカ

第二十二條ニ成ヘク他船ノ前面ヲ横切ルベカラズトアリマス

航路ヲ避クベキ汽船他船ニ接近シタルトキ遵守スベキ措置ハナキカ

第二十三條ニ他船ノ航路ヲ避クベキ汽船他船ニ近寄リタルトキハ時宜ニ應シテ速力ヲ緩メ若ハ運轉ヲ止メ又ハ後退スベシト規定シテアリマ

ス

二艘ノ船ガ接近シテ衝突ノ虞アル場合ニハ以上規定ノ替シ方ノ外別ニ

異リタル規定ハナキカ

有リマス航行中ノ帆船ハ第二十六條ニ依リ漁業ニ従事シ居ル船ヲ替サ

ネバナラズ又他船ヲ追越ストキハ汽帆船ノ別ナク追越サントスル船

ハ第二十四條ニ依リ他船ヲ替シ行カネバナリマセヌ

航行中ノ帆船ハ總テノ漁船ヲ替シ行クベキ規定ナルカ

網或ハ繩ヲ用キテ漁業ニ従事シ居ル帆船ノ航路ノミヲ替スベキ譯ニテ

網ヲ揚ゲ運行シ居ルモノ迄モ替シ行クベキ譯デアリマセン(第二十六條)

追越船トハ眞艦ヨリ追及シ來ル船ノミヲイフモノカ

否ナ正横後二點以外即チ夜間ナレバ舷燈ノ見難キ位置ヨリ追及シ來ル

船ハ總テ追越船ト云フモノデアリマス

夜間ハ舷燈ノ射光ニヨリ正横後二點ノ内外ヲ判知スベキモ晝間ハ其内

外ヲ如何シテ區別スルカ

晝間ハ區別判明ナラザルヲ以テ後ヨリ他船ヲ追抜カントスル船ヲ總テ

追越船ト見做シマス

帆船ハ曳船ノ汽船ニ對シテ航路ヲ替スベキ義務アルカ

霧中ノ外ハ替スベキ義務アリマセヌ

〔航 方〕

問 何故ニ霧中ノミ替スベキ義務アルカ
 答 運轉自由ヲ得ザル船ナルカ電信工事ニ掛リ居ル船ナルカ判定シ能ザル
 爲メナリ

問 獨走ノ汽船ハ曳船ノ汽船ニ對シテ航路ヲ替スベキ義務アルカ

答 別ニ替スベキ明文ナキニヨリ獨走船ノ出會ト同様ニ權利義務ヲ定ムル
 外アリマセン

霧中兩帆船ノ出會

問 西北西ノ風ヲ受ケ北ニ向テ霧中帆走ニ際シ右舷船首ニ方リ霧中號角一

聲ヲ聞キタルトキハ我他船ト如何ナル狀ニ出會スルカ若シ近寄
 リ衝突ノ虞アル場合ニハ如何ナル措置ヲナスベキカ
 答 他船ハ南西ニ向フ右舷詰開キカ右舷眞横受ケ南々西迄ノ二點間ニ針路
 ヲ取り我航路ヲ横切ル方向ニ進行シ來ルモノナリ故ニ若シ他船ノ音響

右舷船首四點以內ニ在リテ詰開キニ航走スルモノナルトキハ我ガ前面

ヲ横切リ來ルモノナルニヨリ我船ハ第十七條第二項ノ義務ヲ以テ他船

ノ航路ヲ替ス覺悟ヲナサネバナリマセン

問 霧中西北西ノ風ヲ受ケ北ニ向テ帆走中右舷船首ニ當リ霧中號角三聲ヲ

聞キタルトキハ自船ハ如何ナル所置ヲナスカ

答 他船ハ北々東少シク東ヨリ東南東ヲ經南々西少シク南迄ノ約十六點間

ノ區域内ニ針路ヲ取り帆走スルモノニテ恐ク衝突ノ危険ナキモノデア

ル故ニ我船ハ其儘針路速力ヲ保チマス

問 東北東風ヲ右舷一杯開ニ受ケ帆走中右舷船首ニ方リ霧中號角三聲ヲ聞

キタルトキハ如何ナスカ

問 他船ハ南々東以南ヨリ西方ヲ經北々西以西ノ幾ンド十六點間ニ向テ航

行スルモノニテ我前面ヲ横切リ來ルトキハ衝突ノ危険計リ難ケレドモ

我船ハ右舷詰開ニアリ他船ハ正横後ニ風ヲ受クルモノナルニヨリ我船

ハ其儘針路速力ヲ保テ進行シテ差支アリマセヌ
問 左舷正横ニ風ヲ受ケ帆走中前面ニ聞キタル霧中號角一聲ニ對シテハ如何ナスカ

答 他船ハ我船ノ左舷ニ替リ行クカ否ザレバ眞向或ハ幾ンド眞向ニ出會スル船ニテ我船ハ左舷ニ風ヲ受クルニヨリ第十七條第三項ノ義務ヲ以テ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセヌ

問 其時他船ノ航路ヲ避クルニハ如何ニ替スカ

答 舵柄ヲ上手ニ取り他船ノ下手ニ替ル様ナシマス

問 西風ヲ受ケ北ニ向テ帆走中前面ニ方リ霧中號角二聲ヲ發スル他船ハ如何ナル方向ニ來ルモノカ其トキ我船ハ他船ニ對シテ如何ナル措置ヲ取ルカ

答 他船ハ正横前ニ風ヲ受ケテ帆走スルモノナレバ風上ニ替リ行クベシ若シ正横ニ風ヲ受ケ我ト針路ヲ同フシテ速力遅緩ナレバ我船ハ他船ヲ追

越シ行クモノナルニヨリ第二十四條ニ依リ他船ヲ替サネバナリマセヌ
問 左舷正横ニ風ヲ受ケ帆走中左舷船首ニ方ル一聲及二聲ノ霧中號角ニ對シテハ如何ナスカ

答 皆替リ行ク船ナルニヨリ我ハ懸念ナク針路速力ヲ保チマス

問 南西ノ風ヲ受ケ北西ニ向テ帆走中右舷正横前ニ方ル何聲ノ號角ハ衝突ノ危険アリト思フカ

答 二聲ノ信號ヲナス他船正横前ニ風ヲ受ケ接近シ來ルトキハ風下ヨリ我前面ヲ横切ルモノナルニヨリ若シ衝突ノ危険アルトキハ我船ハ風上ノ義務ヲ以テ第十七條第四項ニ依リ他船ヲ替シ行カネバナラヌ一聲三聲ノ信號ハ悉ク替リ行クベキ針路ヲ取り航走スル船ナルニヨリ衝突ノ虞

問 アルコトナシ我船ハ其儘懸念ナク進行シテ差支アリマセン
南東ノ風ヲ受ケ西ニ向テ航行中左舷船首ニ方ル一聲ノ霧中號角ハ如何ナル船ト思惟スルカ其時他船ト接近スレバ孰レノ船ニ於テ航路ヲ避ク

ベキ義務アルカ

答 他船ハ東北東ノ一杯開キカ北東ノ正横受ケノ二點間ニ向テ針路ヲ取リ

我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切ルモノナルニヨリ我船ハ第十七條第一項

若クハ第三項ノ義務ヲ守リ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

問 北ノ風ニ南東ニ向テ帆走中左舷正横前ニ方リ霧中號角ノ三聲ヲ聞キタ

ルトキハ如何ナスカ

答 其音響四五點ニ當ルトキハ第十七條第三項ノ義務ヲ守リ針路ヲ左轉シ

テ他船ヲ替ス手段ヲ取ル覺悟ヲナサネバナリマセヌ併シ正横前一二點

ニ當ルトキハ倉皇針路ヲ轉ズルコトハ宜敷アリマセヌ如何トナレバ他

船ハ右舷受ケナルカ船尾風ヲ受クルモノナルカ判明シ難シ他船果シテ

右舷受ケナレバ我船ハ他船ヲ替サネバナラヌ若シ他船々々尾風ヲ受クル

モノナレバ他船ニ於テ我ガ航路ヲ替スベキデアリマス然ルニ他船我ガ

正横前一二點ノ處ヨリ我船ト速力格別ノ差ナク我前面ヲ横切リ衝突點

ニ向テ接近スルモノナレバ其他船ハ恐ラク船尾風ヲ受ケ進行シ來ルモ

ノデアリマス若シ其場合ニ我船ハ左舷受ケノ義務ト速斷シテ倉皇針路

ヲ左轉シ同時ニ他船ハ船尾風ノ義務ヲ守リ我ガ船尾ヲ替行カント右轉

ヲナシタルトキハ却テ危險ノ地位ニ陥ルコト、ナリマス故ニ斯ノ如キ

場合ニハ注意シテ進行シ若シ衝突ノ危險アルヲ認メタルトキハ我船ハ

強ク右轉ヲナス方安全ノ策デアリマス

問 東風ヲ右舷ニ受ケ北西ニ向テ帆走中右舷船首ニ霧中號角三聲ハ我船ト

如何ニ出會シ我船ハ其船ニ對シテ如何ナル措置ヲ取ルヤ

答 他船南西間ニ針路ヲ取リ我ガ前面ヲ右舷ヨリ左舷ニ横切リ帆走シ來ル

コトアルモ我船ハ右舷ニ風ヲ受ケ他船ハ第十七條第三項ノ義務ヲ守ル

ベキモノナルニヨリ我ハ第二十一條第一項ヲ守リ針路速力ヲ保テマス

問 北東ノ風ヲ受ケ西ニ向テ帆走中左舷正横前ニ方ル霧中號角一聲ヲ聞キ

タルトキハ如何ナスカ

答 他船ハ右舷詰開若クハ右舷正横前ノ風ヲ受ケ我ガ前面ヲ横切ルモノナルニヨリ若シ接近衝突ノ虞アル場合ニハ我船ハ第十七條第一項第四項ニ依リ他船ノ航路ヲ替シ行カネバナリマセス

問 其時ハ孰レニ替スヲ安全トスルカ

答 船首ヲ右轉シテ風上ニ溯向或ハ踟躕シテ他ノ船ヲ通シマス

答 北風ヲ受ケ南々東ニ向テ帆走中右舷船首ニ方ル二聲ノ霧中號角ニ對シテハ其儘進行シテ差支ナキカ

答 他船ハ風ヲ左舷開ニ受ケ航走スル帆船ニテ我前面ヲ右舷ヨリ左舷ニ横切ルモノナルニヨリ我船ハ船尾風ノ義務ヲ以テ第十七條第五項ニヨリ

他船ヲ替シ行クベキモノデアリマス

問 同前ノ場合ニ一聲ノ號角ナレバ如何

答 其儘進行シテ差支アリマセス

問 東風ヲ受ケ北ニ向テ航行中前面ニ當リ號角一聲ニ續キ號鐘ヲ聞キタル

答 其儘進行シテ差支アリマセス

問 東風ヲ受ケ北ニ向テ航行中前面ニ當リ號角一聲ニ續キ號鐘ヲ聞キタル

トキハ如何ナスヤ

答 漁船ナル故風下ニ替シ行カネバナリマセン

問 一杯ニ開キ風上ニ替シテハ如何

答 風上ニハ網アルモノト思ハレマス

霧中帆船ト汽船ノ出會

問 北風ヲ受ケ南ニ向テ帆走中前面ニ當リ汽笛長聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 第二十條ニ依リ他船ハ我船ノ航路ヲ替スベキモノナルニヨリ我船ハ其儘針路速力ヲ保チ進行シマス

問 眞艦ノ風ヲ受ケ南ニ向テ帆走中前面ニ方リ汽笛長聲二發ヲ聞キタルト

キハ如何ナスカ

答 霧中信號ヲナシ其儘進行シマス

霧中信號ヲナシ其儘進行シマス

問 其他船ハ何船ト思惟スルカ

問 運轉ヲ止メ速力ヲ有タザル汽船ト思ヒマス

問 静止セルモノニ對シテ其儘進行ヲ繼續シテ危険ナラスカ

答 他船ハ便宜上運轉ヲ停止シ居リ未ダ汽船ノ資格ヲ失ハザルモノナルニ

ヨリ帆船ニ對シ衝突ノ危険アルトキハ第二十条ノ義務ヲ守リ速力ニ運

轉ヲ始メテ我航路ヲ適宜ニ替スベキ筈デアリマス

問 東風ヲ受ケ正西ニ針シテ帆走中前面ニ方リ汽笛長短々々ノ三連發ヲ聞キ

タルトキ其儘針路速力ヲ保チ進行スベキカ

答 其他船ハ運轉自由ヲ得ザル船カ海底電線ノ工事ニ掛リ居ルカ否ザレバ

曳船ヲナシテ航行スル汽船ナル故篤ト其靜動ヲ慥メ他船ノ航路ヲ避テ

行クベキ覺悟ヲナサネバナリマセヌ

問 右舷詰開ニ風ヲ受ケ帆走中前面ニ接近シテ汽笛短聲一發ヲ聞キタルト

答 舵ヲ狂ハサヌ様針路ヲ眞直ニ保チマス

問 霧中東風ヲ受ケ西ニ向ケ航行中前面ニ當リ汽笛一聲續テ號鐘ヲ聞キタ

ルトキハ如何ナスヤ

答 夫レハ漁業ニ従事シ居ル汽船ナル故注意シテ其儘進行シテ差支アリマ

セヌ

問 帆船ハ漁船ヲ替スベキ規定ニアラザルカ

答 第二十六條ノ明文ニヨレバ帆船ノ替スベキハ漁業ニ従事スル帆船ニ限

リマス

帆船前面ニ方ル雜信號

問 船尾ノ風ヲ受ケ航走中前面ニ當リ音響信號ヲ聞キタルトキハ何船ト思

フカ

答 其他船ハ總積量二十噸未満ノ帆船第十五條末項ノ規定ニヨリ信號ヲナ

シツ、航走スルモノナルカ、漁業ニ従事シ居ル船ナル故音響ニ注意シテ
適宜其他船ヲ替スベキ所置ヲ取ラネバナリマセヌ

問 若シ其時我船右舷正横ノ風ヲ受ケ航行シアレバ何レノ方ヘ針路ヲ轉ジ
替スベキカ

答 必ズ他船ノ風下ニ替シ行ク様ナシマス

問 何故風下ニ替スカ

答 若シ漁業ニ従事スル船ナレバ其風上ニハ網或ハ繩ヲ曳キテ居ルベキニ
因テ下手ニ替スノデアリマス

問 霧中航行ニ際シ俄然前面ニ方リ爆裂信號ノ音響ヲ聞キタルトキハ如何
ナスカ

答 其音響ヲ避ケ得ル様船首ヲ適宜ニ轉ジ其信號ハ難船信號ニアラザルカ
ヲ注意シテ聞定メマス

問 夫レハ如何ナル信號ト思惟スルカ

答 難船信號ニアラザレバ第十二條ニ依リ注意ヲ喚起シタル信號デアリマ
ス

難船信號

問 難船信號トハ如何ナル合圖ヲ云フカ

答 遭難ノ船舶ガ救助ヲ要スルトキ第三十一條ノ規定ニ從テ爲スベキ信號
デアリマス

問 其信號ハ如何ニナスカ

答 晝間ト夜間ト違ヒマス晝間ナレバ左ノ五種デス

一 大約一分時ノ間隔ニ大砲又ハ其他ノ爆裂發火信號ノ一發

二 NCノ二旗信號掲揚

三 方形旗ノ上若クハ下ニ球若クハ類似ノモノヲ連掲シテ遠距離信
號ノ表示

【難船信號】

四 霧中信號器ヲ以テ間斷ナキ音響ノ續發
以上ノ信號ヲ同時又ハ別々ニ使用イタシマス

外ニ萬國信號法ニヨリ増加シタル尖端ヲ上ニシタル圓錐形ノ上
カ下ニ球若クハ類似ノモノ連掲ノ表示ガアリマス

問 夜間ノ難船信號ハ如何

答 夜間ハ左ノ四種ヲ同時又ハ別々ニナシマス

- 一 晝間ノ信號ト同様砲又ハ爆裂發火信號ノ一發
- 二 船上ノ發焰(タール桶、油樽等ヲ燃燒スルノ類)
- 三 星火ヲ發スル榴彈或ハ火箭ヲ一次一發ツ、度々ノ打揚ゲ
- 四 霧中信號器ヲ以テ間斷ナク音響ノ續發

霧中信號ニ對スル汽船ノ措置

問 汽船霧中航行中前面ニ方リ汽船ノ航行信號ヲ聞キタルトキハ如何ナス

カ

答 其所在分明ナラザルトキハ第十六條ヲ守リ直チニ機關ヲ緩メ或ハ停止
シテ他船ノ動靜ヲ伺ヒマス

問 他船ノ動靜ヲ慥ムル猶豫アラザル程近距離ナルトキハ如何ナスカ

答 八點旋轉法ヲ行フカ全速力後退ヲナシマス

問 八點旋轉法トハ如何

答 急ニ船ヲ右或ハ左ニ八點回頭シ夫レニテモ尙ホ危險ヲ免レズト認ムレ
バ又八點回頭ヲナス法デアリマス

問 汽船霧中航行中前面ニ方リ二長聲ノ汽笛ニ對シテハ如何ナスカ

答 適宜ニ船首ヲ轉ジテ替シ行キマス

問 其船ハ何船ト思惟スルカ

答 運轉ヲ止メ速力ヲ有タザル汽船デアリマス

問 汽船霧中航行中前面ニ方リ汽笛長短々々ノ三連聲ヲ聞キタルトキハ如何

ナスカ

第十六條ヲ守リ運航ニ注意シテ他船ノ何船ナルカヲ考ヘマス

夫レハ何故ナルカ

長短々ノ信號ハ運轉自由ヲ得ザルモノナルカ海底電線工事ニ従事シ居

ルモノナルカ又ハ他船ヲ曳キ航行スルモノナルカノ孰レナルカヲ考ヘ

ナケレバナリマセン

左様ノ船ニ對シテ獨走ノ汽船ハ針路ヲ避クベキ義務アルカ

然リ替シ行クベキデアリマス

豫防法中獨走ノ汽船ハ引船ノ航路ヲ避クベキ明文ハアルカ

獨走ノ汽船ハ引船ノ航路ヲ避クベシトノ明文ハナキモ他船ノ航路ヲ避

ケ能ハザルモノト同一ノ信號ヲナスモノナルニ由リ霧中長短々ノ信號

ニ對シテハ皆同様ニ替シ行クベキ覺悟ヲナサネバナリマセン

汽船霧中航行中右舷船首ニ方リ汽笛長聲一發ヲ聞キタルトキハ如何ナ

スカ

其音響漸次前面ニ迫リ來ルカ著シキ方向ノ變更ヲ認メザルトキハ其音

聲ヲ左舷ニナスマデ船首ヲ轉ジテ進行シマス

汽船霧中航行中左舷正横前若クハ左舷船首ニ霧中信號ノ汽笛長聲一發

ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

注意シテ針路ヲ保チテ徐進シマス

何故其儘進行シテモ差支ナキカ

他船若シ我船ノ前面ヲ横切り來ルトキハ我船ハ他船ヲ左舷ニ他船ハ我

船ヲ右舷ニ見ル位置ニアルモノデアリマス

汽船霧中右舷正横前ニ風ヲ受ケ航行中左舷船首ニ方リ霧中號角一聲ヲ

聞キタルトキハ如何ナスカ

場合ニヨリ右轉シテ他船ヲ替シ行ク方向ヲ取りマス

若シ其信號二聲ナルトキハ如何ナスカ

答 當時ノ風位ヲ考へ船首ヲ横切リ來ルカ船尾ニ替リ行クカヲ判定シ船首ヲ横切リ來ルトキハ他船ノ航路ヲ替ス手段ヲ取り若シ疑シキトキハ機關ヲ停止又ハ後退シテ他船ノ動靜ヲ窺ヒマス

問 汽船霧中右舷正横後二點ニ風ヲ受ケ航行中左舷四點内外ニ方リ霧中號角二聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 其儘進行シテ差支アリマセズ

問 汽船霧中北風ヲ受ケ東ニ向テ航行中北東方ニ方リ霧中號角二聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 其儘進行シマス如何トナレバ他船ハ左舷開キニ風ヲ受ケ東北東ヨリ我船ト同針正東迄ノ約二點間ニ向テ航走スル帆船ニテ衝突ノ虞レナキモノデアリマス

問 霧中船尾ニ風ヲ受ケ航行ノ汽船右舷船首ニ方リ霧中號角三聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 先ヅ進行ヲ緩ニシ場合ニヨリ機關ノ運轉ヲ停止シテ其船ハ替リ行ク針路ニ航走セルモノナルカ果タ我が前面ヲ横切リ來ルカヲ判断シ適宜航路ヲ避クル手段ヲ取りマス

問 霧中船尾ニ風ヲ受ケ航行ノ汽船右舷船首ニ一聲左舷船首ニ二聲ノ霧中號角ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 其儘進行シマス如何トナレバ兩船共ニ替リ行キ毫モ衝突ノ虞ナキモノデアリマス

問 同前ノ場合ニ右舷ノモノハ二聲左舷ノモノハ一聲ナルトキハ如何ナスカ

答 狀況ヲ見定ムルマデ運航ニ注意シ右舷ノ二聲ヲ左舷ニ左舷ノ一聲ヲ右舷ニ聞クマデ進行ヲ停止シテ替ス手段ヲ取りマス

問 眞艦ニ風ヲ受ケ霧中航行ノ汽船眞艦ニ方リ霧中號角三聲追々接近シ來ルトキハ如何ナスカ

答 適宜衝突ヲ避クル手段ヲ取ラナケレバナリマセヌ

問 船尾ヨリ追越シ來ルモノニ對シテ針路ヲ避クベキ義務アルカ

答 霧中咫尺ヲ辨ゼザル場合ニ帆船ニ於テハ汽船ハ如何ナル方位ニ向ヒ居

ルヲ推知シ能ハザルモノナレバ帆船ニ於テ追越船ト思ハズシテ接近シ

來ルトキハ汽船ニ於テ第二十一條但書ノ義務ヲ盡スベキデアリマス

問 汽船霧中北風ニ向テ航行中前面ニ間近ク霧中號角三聲ヲ聞キタルトキ

答 ハ如何ナル措置ヲナスカ

答 機關ヲ緩ルメ或ハ停止シテ他船ノ動靜ヲ窺ヒ適宜他船ノ航路ヲ替ス手

段ヲ取ラナケレバナリマセン

問 汽船霧中北風ニ向テ航行中前面ニ當リ間近ノ霧中號角一聲ヲ聞キタル

答 トキハ如何ナスカ

答 他船ノ信號ヲ正首若シクハ少シク左舷ニ聞クマデ船首ヲ右轉シテ進行

シマス

問 霧中南西ノ風ヲ受ケ北ニ向テ航行ノ汽船左舷船首ニ方リ霧中號角二聲

ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 他船ハ西北西ヨリ北西ノ間ニ向テ帆走シ替リ行クモノナルニヨリ本船

ハ懸念ナク進行シマス

問 霧中南東ノ風ヲ受ケ南ニ向テ航行ノ汽船南西ノ方位ニ當リ霧中號

角三聲ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 其儘針路速力ヲ保チ行クモ更ニ危険ハアリマセヌ

問 霧中南風ヲ受ケ南ニ向テ航行ノ汽船右舷ニ二聲左舷ニ一聲ヲ聞キタル

トキハ如何ナスカ

答 懸念ナク其儘進行シマス

問 同前ノ場合ニ右舷ノ號角一聲左舷ノ號角二聲ナルトキ如何ナスカ

答 一聲ヲ左舷ニ二聲ヲ右舷ニ聞クマデ機關ヲ停止シテ運行ヲ止メマス

問 汽船正首ニ當リ音響信號ヲ聞キタルトキハ如何ナスカ

答 同前ノ場合ニ右舷ノ號角一聲左舷ノ號角二聲ナルトキ如何ナスカ

答 直チニ機關ヲ停止シ若クハ後退ヲナシマス

航方ノ適用

問 夜間航行中他船ノ燈火ヲ見タルトキハ第一着ニ注意スベキハ如何ナルコトナルカ

答 其燈火ハ如何ナル船ノ燈ナルカ次ニ其船ハ替リ行クベキモノナルカ

又横切り來ル船ナルカヲ考ヘ他船ハ如何ナル方向ニ航進スルモノナルカ終リニ衝突ノ危険アルヤ否ヤヲ判断イタシマス

問 他船ノ航進スル方向ハ如何シテ豫知スルカ

答 船舶ノ表示シタル船燈ハ正首ヨリ左右十點ヅ、ヲ照スベキモノナルニ因リ一舷燈ノ光輝ハ船首十點間回轉スル間變更スルコトナシ假令北ニ紅燈ヲ表ス船ハ北ノ幾ンド反對ノ南少シク西方ヨリ西北西迄ノ約十點間回轉スル間ハ紅燈ヲ見得ベキ筈ナル故北ニ方リテ紅燈ヲ表ス船ハ

南稍ヤ西ヨリ西北西ノ十點間内ニ向ヒ居ルコトヲ豫知セラレマス

問 其航進區域ヲ考フルニ簡易ナル方法ナキカ

答 燈ノ方位ニ向ヒ綠燈ナレバ右ヘ紅燈ナレバ左ノ六點目ニ當ル所ヨリ燈火ノ方位ノ反對點迄ノ十點ハ其船ノ針路區域ト考フレバ容易デアリマ

問 若シ兩舷燈ヲ同時ニ見タルトキノ方向ハ如何

答 其方位ノ正反對ノ一方位ニ向ヒ居ルモノデアリマス

問 他船ガ自船ノ前面ヲ横切ル針路ニ航進スルモノデアレバ衝突ノ虞ガアルカ

答 否航方ノ前提ニモ示ス通り其方位ガ慥カニ變更シナイトキナレバ兩船

衝突點ニ向テ接近スルモノデアリマス

問 甲船航行中右舷船首二點ニ乙船ノ紅燈ヲ認メ其方位變更セス接近スルトキハ此兩船如何ナル状態ニ衝突點ニ相會スルヤ

答 兩船同速力トスレバ十二點ノ交叉角ヲ以テ相會シ若シ乙船ノ速力早ク
 シテ甲船ノ二倍トスレバ約十三點ノ交叉角ニ相會シ一倍半トスレバ十二
 點四分ノ三ノ交叉角ニ相會スベシ又乙船ノ速力遅クシテ甲船ノ三分ノ二
 トスレバ少ナル交叉角約十一點ニ出會スベシ
問 北ニ向テ航行中正面ニ方リ汽船ノ綠燈ヲ見タルトキハ其船ハ如何ナル
 針路ニ進行スルモノナルカ
答 北ノ正反對點南ヨリ北ノ右六點目ノ東北東迄約十點間ハ綠燈ヲ表ス他
 船ノ向ヒ居ルベキ針路區域ト推定シマス
問 北ニ向テ航行中正面ニ當リ汽船ノ兩舷燈ヲ見タルトキハ其他船ハ如何
 ナル針路ニ航進スルモノナルカ
答 北ノ正反對點正南ノ一點ニ向ヒ居ルモノデアリマス
問 北東ニ方リ汽船ノ紅燈ヲ見タルトキハ其船如何ナル區域ニ針路ヲ取ル
 モノナルカ

答 南西稍ヤ西ヨリ北々西ノ約十點間ニ向テ航行スル汽船デアリマス
問 帆船ノ針路區域モ汽船ト同様ノ操リ方デ宜シキカ
答 横帆裝置ノ船ハ一杯開キニナシ六點迄溯向スルヲ普通トナスガ故汽船
 ノ如クニシテ求メタル進航區域ガ風位ヨリ左右六點即チ十二點間ニ關
 係アルヤ否ヤヲ考ヘ若シ關係アレバ夫レ丈ケヲ控除シ殘リノ點數ヲ以
 テ其船ノ進航區域トナシマス
問 風位ガ舷燈ノ射光區域ニ關係ナキヤ否ヤヲ簡單ニ辨知スル法ナキカ
答 其風位ガ舷燈ノ方位ヨリ綠燈ナレバ左方紅燈ナレバ右方十點以內ニア
 ルトキハ舷燈ノ射照區域ニ關係ナキモノデアリマス
問 東北東ノ風ヲ受ケ北ニ向テ航行中左舷船首二點ニ當リ綠燈ヲ認メタル
 トキハ他船ハ如何ナル方向ニ進行シ來ルモノナルカ
答 綠燈ヲ表示シタル他船汽船ナレバ南々東ヨリ北東ノ十點間ニ向フベキ
 モノナレドモ東北東ノ風ヲ受クル帆船ナル故風位ヨリ左右六點ヅツヲ

〔航方ノ適用〕

控除シ 殘ル 點數 南々東ヨリ 南東迄ノ 僅カニ 二點ハ 其帆船ノ 針路區域デ
アリマス

問 東風ヲ 受ケ 北ニ 向テ 航行ノ トキ 左舷五點ニ 他船ノ 綠燈ヲ 見タルトキハ

其船ハ 如何ナル 方向ニ 航行スルモノデアルカ

答 綠燈ヲ 表示スル 他船ハ 汽船ナレバ 南東ヨリ 北々東ノ 十點間ニ 向フ

ベキモノナレドモ 帆船ナレバ 風位ヨリ 左右六點間ハ 詰開界限ナル 故北

々東ヨリ 北々東ノ 僅カニ 一點間ノ 區域内ニ 向テ 居ルモノデアリマス

兩帆船ノ出會

問 東北東ノ 風ヲ 受ケ 北ニ 向テ 航行中 左舷船首二點ニ 方リ 帆船ノ 綠燈ヲ 見

タルトキハ 他船ハ 如何ナル 方向ニ 進ミ 來ルヤ 若シ 接近衝突ノ 虞アルト

キハ 我船ハ 如何ナル 措置ヲ ナスベキカ

答 他船ハ 南々東ノ 稍ヤ 東方ヨリ 南東ノ 針路ヲ 取リ 前面ヲ 横切リ 來ル帆船

ニテ 兩船ノ 航路互ニ 交叉シ 危險ノ 虞アレドモ 我船ハ 右舷詰開ナルヲ 以

テ 他船ノ 航路ヲ 替スベキ 義務ナシ 其儘針路 速度ヲ 保チテ 進行シテ 差支

アリマセヌ

問 西南西ノ 風ヲ 受ケ 南ニ 向テ 航行中 右舷船首三點ニ 方リ 帆船ノ 紅燈ヲ 認

メタル 其他船ハ 我船ト 如何ナル 狀ニ 出會スルカ 若シ 衝突ノ 危險アル 場

合ニハ 自船ハ 如何ナル 所置ヲ 採ルカ

答 他船ハ 北東々北ヨリ 南東々南マデ 約十點ノ 間ニ 針路ヲ 取リ 左舷若シク

ハ 船尾ニ 風ヲ 受ケ 我ガ 前面ヲ 右舷ヨリ 左舷ニ 横切リ 危險點ニ 向テ 接近

セル 帆船デアリマス 若シ 衝突ノ 虞アルモ 我船ハ 他船ヲ 替スベキ 義務ナ

キモノデアリマス

問 西北西ノ 風ヲ 受ケ 北ニ 向テ 航行中 右舷船首二點ニ 當リ 帆船ノ 紅燈ヲ 認

メタル 他船ノ 針路及ビ 自船ノ 爲ス可キ 處置ハ 如何

答 他船ハ 右舷開ニ 風ヲ 受ケ 南々西少シク 西方ヨリ 南西迄ノ 約二點間ニ 針

【帆船ノ出會】

路ヲ取リ進行シ來ル帆船デアリマス他船方位ノ反對點即チ南々西ニ近ク針路ヲ取ルモノナレバ最早ヤ我船尾ニ替リタルモノナレドモ詰開キノ南西ニ近ク針路ヲ取リ來ルトキハ我ガ前面ヲ横切り危険點ニ向テ接近スルモノデアリマス此際若シ衝突ノ虞アルトキハ我船ハ左舷開キナ

問 同前ノ場合ニ於テ其紅燈ノ方位右舷四點ナルトキハ如何

答 紅燈ヲ表示スル他船ハ右舷詰開ノ極限ニ向ヒ居ルモノナル故暫時其方

位ヲ注視シ兩舷燈ヲ見ルニ至ラバ其儘進行シテ差支アリマセン

問 東南東ノ風ヲ受ケ南ニ針シテ航進中左舷三點ニ方リ帆船ノ綠燈ヲ見タ

答 ルトキハ其船ノ進行方向及自船ハ如何ナル措置ヲナスベキカ

他船ハ北西イ北ノ稍ヤ西方ヨリ南西イ南ノ約十點ノ間ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切り航走スル帆船デアリマス此際若シ衝突ノ虞アル

モ我船ハ左舷詰開ニ風ヲ受ケ他船ハ一杯ニ開カザルモノナル故他船ハ

第十七條第一項ニ依リ我船ノ航路ヲ避クベキ義務ガアリマス

問 西風ヲ右舷真横ニ受ケ航行ノ際左船船首一點ニ帆船ノ綠燈ヲ見タルト

答 キハ其船ノ方向及自船ノ處置如何

他船ハ左舷詰開キトナシ北々西ニ向テ航行スルモノナルトキハ我ガ針

路ト二點ノ交叉角ヲ以テ我前面ヲ横切ルノ危険アリ斯ル場合ニハ第十

七條第一項ノ義務ヲ以テ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセヌ

問 東風ヲ右舷正横ニ受ケ北ニ向テ航行ニ際シ帆船ノ綠燈ヲ西北西ニ見タ

答 リ其船ハ如何ナル針路ヲ取ルヤ又自船ハ如何ナル措置ヲナスベキカ

他船ハ我船ト幾ンド同針路ニ航行スルカ東風ヲ詰開ニ受ケ北々東ニ向

テ航進スルモノナルベシ我船ト同針路ヲ取リ北ニ向テ航行スルトキハ

衝突ノ危険アルコトナケレドモ若シ東方ニ開キタル針路ヲ採リ進行ス

ルトキハ左舷ヨリ右舷へ斜メニ我前面ヲ横切ルニヨリ我船ハ同舷ノ風

ヲ受ケ風上ニアルヲ以テ第十七條第四項ノ義務ヲ守リ他船ノ航路ヲ避
クベキデアリマス

問 西風ヲ受ケ正南ノ航路ヲ取リ帆走中右舷船首三點ニ帆船ノ紅燈ヲ見タ
ル時ハ自船ハ其儘進航スベキカ果タ他船ヲ替行クベキカ

答 我船ハ他船ヲ替スベキ義務ナシ其儘進航シマス如何トナレバ他船ハ南
東イ南ヨリ北東イ北ノ十點間ニ針路ヲ定メ正横若クハ船尾ニ風ヲ受ケ

問 右舷ヨリ左舷ニ我前面ヲ横切リ進行スルモノナルカ故他船ハ第十七條
第三項第四項若クハ第五項ニ依リ我ガ航路ヲ替スベキモノデアリマス

答 北風ヲ受ケ正東ニ針シテ航行中右舷四點ニ當リ帆船ノ紅燈ヲ認メタル
トキハ其他船ハ衝突ノ危険アル船ナルカ果タ替り行クモノナルカ若シ

問 接近衝突ノ虞アルトキハ自船ハ如何ナル處置ヲナスベキカ
答 他船ハ北風ヲ左舷詰開ニ受ケ東北東ニ向テ我ガ風下ヨリ斜メニ前面ヲ
横切リ行クモノデアリマス若シ接近衝突ノ虞アルトキハ第十七條第一

項若ハ四項ノ義務ヲ以テ我船他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセヌ
問 北風ヲ左舷正横ニ受ケ航行中正首ニ綠紅ノ兩舷燈ヲ見タルトキハ我船
ハ其儘進行シテ差支ナキカ

答 他船ハ右舷正横ニ風ヲ受ケ我船ハ左舷正横ニ風ヲ受ケ眞向幾ンド眞向
ニ出會スルモノナルニヨリ我船ハ第十七條第三項ノ義務ヲ守リ他船ノ

問 航路ヲ避ケネバナリマセヌ
答 南風ヲ受ケ西ニ向テ航行中左舷船首三點ニ方リ綠燈ヲ見タルトキ如何
ナル狀況ニ出會スルヤ自船ハ如何ナル處置ヲナスベキカ

問 他船ハ北東微東ヨリ北西微西ノ約十點間ニ向テ帆走セルモノニテ他船
若シ右舷ニ風ヲ受ケ接近スルトキハ我船ハ第十七條第三項ノ義務ニ依

答 他船ヲ替シ行カネバナラヌ併シ他船船尾ニ風ヲ受クルカ我ト同舷ニ
風ヲ受クルトキハ他船ニ於テ我航路ヲ替スベキ義務アレドモ他船ハ我

問 同舷ニ風ヲ受ケ又ハ船尾ニ風ヲ受クル場合ニハ他船ノ速力甚シク遅
【帆船ノ出會】

緩ナルニアラザレバ危険點ニ出會スルコト勿カルベキナレドモ斯ル場合ニハ概シテ他船ノ航路ヲ避ケ行クベキデアリマス

問 南東ノ風ヲ受ケ北ニ尙テ帆走中左舷船首四點ニ當リ綠燈ヲ表示スル帆船ハ如何ナル狀ニ我ガ針路ヲ横斷スルカ若シ接近衝突ノ虞アルトキハ我船ハ如何ナスカ

答 他船ハ東北東ヨリ北々東ノ約四點ノ間ニ針路ヲ取り我ガ前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切り帆走スルモノナリ若シ接近衝突ノ虞アルトキハ我船ハ第十七條第四項ノ義務ヲ守リ他船ノ航路ヲ替シ行カネバナリマセス

問 北西風ヲ右舷正横後ニ受ケ正南ニ針路ヲ取り航行ニ際シ左舷正横前二點ニ方リ帆船ノ綠燈ヲ見タルトキハ其他船ハ如何ナル方向ニ進行シア

答 他船ハ西南西ヨリ南ノ間ニ方向ヲ定メテ航走スル帆船デアリマス故ニ其他船ハ右舷詰開ニ風ヲ受ケ我前面ヲ横切ルカ否ラザレバ我ト同舷ニ

風ヲ受ケ風下ヨリ我前面ヲ横切ラントスルモノナルニヨリ自船ハ第十七條第一項若クハ第四項ニ依リ他船ノ航路ヲ替シ行カネバナリマセヌ

問 北東風ヲ受ケ正西ニ向テ帆走中右舷船首三點ニ方リ帆船ノ紅燈ヲ見タルトキハ其船ハ如何ナル方向ニ進行シテ如何ナル狀ニ自船ト出會スルカ若シ接近衝突ノ虞アルトキハ如何ナスカ

答 他船ハ南東ノ東ヨリ南西微西ノ約十點間ニ針路ヲ取り帆走シ我ガ船ノ前面ヲ右舷ヨリ左舷ニ横切ルモノナレドモ我船ハ他船ニ對シ航路ヲ替スベキ義務ナキモノデアリマス

問 北東風ヲ受ケ正西ニ針シテ航走中右舷正横前二點ニ帆船ノ紅燈ヲ見タルトキハ

答 他船ハ左舷正横後若クハ船尾ニ風ヲ受ケ我ガ前面ヲ横切ルモノナルニヨリ我船ハ他船ヲ替スベキ廉ナキモノデアリマス

問 狹隘ナル海峡ヲ回航スル際或ハ島嶼岬角等ノ蔭ヨリ突然現出シテ前同

様ノ場合ニ遭遇シテモ右舷受ケノモノハ絶對的斟酌ナク進行シテ可ナルカ

答 然ル場合ニハ第二十一條但書ノ明文ヲ適用スベキ場合ニテ權利船ト雖モ至當ノ處置ヲ爲シテ衝突ノ危險ヲ避クル處置ヲ取ラナケレバナリマセヌ

問 北ニ向ヒ南西風ヲ受ケテ航走中右舷船首三點ニ方リ航船ノ紅燈ヲ見タルトキハ他船ハ如何ニ進行スルモノカ若シ接近衝突ノ虞アル場合ニハ我船如何ナスカ

答 他船ハ西北西ヨリ北西ノ約三點ノ間ニ向テ帆走シ我ガ右舷風下ヨリ風上ニ横切り來ルモノナリ若シ接近衝突ノ虞アルトキハ自船ハ第七條第四項ニ依リ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセヌ

問 北東風ヲ左舷正横後ニ受ケ正南ニ向テ帆走中左舷三點ニ方リ綠燈ヲ表示セル帆船ヲ認メタルトキハ他船ハ如何ナル針路ヲ取り航行スルモノナルカ若シ其綠燈ノ方位變更セザルトキハ自船ハ如何ナスカ

答 他船ハ右舷ニ風ヲ受ケ北西ノ北ヨリ西南西方ニ向テ航行スルカ南西方ニ向テ船尾風ヲ受ケ進行スルカ孰レニテモ左舷ヨリ右舷ニ我船ノ前面ヲ横切ルモノデアリマス若シ其方位變更セズ接近シ來ル趨勢ヲ認メタルトキハ自船ハ他船ヲ替ス手段ヲ取ラネバナリマセン

問 南風ヲ受ケ北ニ向テ帆走中正首ニ方リ一舷燈ヲ見タルトキハ如何

答 正首ニ方リ一舷燈ハ長ク其方位ニ定止スルコトナシ紅燈ナレバ左舷ニ綠燈ナレバ右舷ニ替リ行クベキ筈ナリ由テ我船ハ其儘針路ヲ保チ進行スルモ差支アリマセン併シ萬全ヲ計ラバ綠燈ナレバ少シク左轉シ紅燈ナレバ少シク右轉シテ同色ノ舷燈ヲ相對向セシムル様イタシマス

問 北風ヲ受ケ南ニ向テ航行中右舷正横前ニ方リ兩舷燈ヲ見タルトキハ如何ナスカ

答 他船兩舷燈ヲ表示シタルトキハ兩船衝突ノ危險點ハ最早ヤ替ラントス

ル位置ニアリマス其儘進行シテ差支ナキモノデアリマス

問 南風ヲ真艦ニ受ケ北ニ向ケ帆走中右舷船首ニ紅燈左舷船首ニ綠燈ヲ見タルトキハ自船ハ如何ナスカ

答 右舷ノ紅燈ハ我ガ前面ヲ右舷ヨリ左舷ニ左舷ノ綠燈ハ前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切ラントスルモノナルニヨリ我ハ第十七條第五項ノ義務ヲ守リ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセヌ

問 其兩船ヲ如何ニ替シ行クカ

答 先ヅ左舷ニ當ル綠燈ノ船尾ニ替リ次ニ紅燈ノ船尾ニ替リ行ク様ナシマス

問 何故ニ先キニ左舷ノ綠燈ヲ替シ行クカ

答 右舷ニ紅燈ヲ表示スル船ハ左舷ニ綠燈ヲ表示スル船ニ對シテ義務船ナル故其船ハ必ズ右轉シテ下手ニ替リ行クベシ左スレバ綠燈ヲ表示スル船ハ其儘針路ヲ保ツモノナルニヨリ自船ハ右轉セバ綠燈ノ前面ヲ横切

リ甚タ危険ナルガ爲デアリマス

問 北風ヲ船尾ニ受ケ航走中右舷船首ニ綠燈左舷船首ニ紅燈ヲ表示セル兩

帆船アルトキハ如何ナスカ

答 針路速カヲ保チ懸念ナク進行シマス如何トナレバ右舷ノ綠燈ハ右舷ニ

左舷ノ綠燈ハ左舷ニ各々遠ザカリ行クモノデアリマス

問 強風ヲ左舷船後(コオター)二點ヨリ受ケ順走中右舷バウ四分ノ一點ニ綠

燈ヲ見而シテ時々紅燈ヲモ見エルトキハ如何ナル船ニテ如何ナスヤ

答 他船ハ右舷開キニ踟躕シテ風上風下ニ昇降シテオル帆船デアルカラ我

船ハ替スベキ處置ヲトリマス

問 右舷詰開ニ帆走中前面ニ二紅燈ヲ見タルトキハ如何ナル船ナルカ若シ

接近セバ如何ナスカ

答 他船ガ運轉自由ヲ得ザルモノナル故我ハ其船ヲ替シ行キマス

問 其紅燈ノ方位右舷船首ニ當ルトキハ如何ナスカ

答 我船ハ其儘進行スルモ差支アリマセン

問 風ヲ右舷開ニ受ケ航走中前面ニ三個ノ白燈ノ下ニ兩舷燈ヲ見タルトキハ如何ナスカ

答 我船ハ其儘進航スルナリ他船ハ二艘以上ヲ曳キ最後ニ曳カル、船ノ船尾迄六百尺以上ノ距離ヲ以テ曳船シテ航行スル汽船デアリマス

問 若シ其白燈二個ナルトキハ如何

答 一艘ヲ曳クカ二艘以上ヲ曳クモ引ク船ノ船尾ト引カル、船ノ船尾トノ距離六百尺以下ナル曳船デアリマス我船ハ其儘進航シテ差支アリマセ

問 右舷詰開ニ航行中前面ニ方リ紅白紅ノ三燈ヲ見タルトキハ如何ナル船ト思フカ若シ接近セバ如何ナスカ

答 他船ハ海底電信線布設又ハ引揚ゲニ従事シ居ルモノナル故我船ハ適宜他船ヲ替シ行カネバナリマセヌ

問 若シ其三燈ノ下ニ舷燈ヲ認メタルトキハ如何トナスカ

答 他船ハ運行シ居ルモ本法ニ遵ヒ他船ヲ替スベキ能力ナキモノナル故我船ハ他船ノ航路ヲ替シ行クベキデアリマス

問 船尾風ヲ受ケ航行中前面ニ方リ一白燈ノ外ニ紅燈二個ヲ連掲スルヲ見タルトキハ如何ナスカ

答 淺深ニ注意シ其船ニ接近セザル航路ヲ取り進行シマス

問 右舷ニ風ヲ受ケ航行中前面ニ方リ白燈一個ヲ認メタルトキハ如何ナスカ

答 其方位ニ注意シテ漁業ニ従事シ居ル帆船ナルトキハ他船ノ風下ニ替リ行ク手段ヲ取ラネバナリマセヌ

問 右舷詰開ノ帆船ハ如何ナル船燈ヲ替スベキ義務アルカ

答 正首ニ當ル白燈ト第四條ノ標示點燈ヲ掲ゲタルモノ、外ハ替シ行クヘキ義務ハ有マセヌ懸念ナク針路速力ヲ保チ進ミマス

問 左舷詰開ニ航行ノ帆船ハ如何ナル燈火ヲ替スベキ義務アルカ

答 正首ニ當ル白燈ト第四條ノ標示ヲ爲シタル船ノ外右舷船首四點以内ニ

方ル帆船ノ紅燈方位變ラズ接近シ來ルヲ認メタル場合ニハ何時モ其航

路ヲ替ス覺悟ヲナサネバナリマセン

問 右舷正横ニ風ヲ受ケ帆走ニ際シテハ如何ナル燈火ヲ替サネバナラヌカ

答 前面ニ白燈ト第四條ノ標示燈ノ外左舷六點以内ヨリ接近シ來ル綠燈ニ

對シテ悉ク替手段ヲナサネバナリマセヌ

問 左舷正横ノ風ヲ受ケ航行ノ帆船ハ如何ナル燈火ニ對シテ航路ヲ避クベ

キカ

答 前面ノ白燈及第四條ノ標示燈及ビ帆船ノ兩舷燈及ビ右舷ニ當ル帆船ノ

紅燈並ニ左舷六點以内ヨリ接近スル綠燈ニハ充分警戒ヲ加ヘ狀況ニ依

リ替手段ヲナサネバナリマセヌ

問 右舷正横後ニ風ヲ受ケ航行ノトキ如何ナル燈火ヲ替スベキ義務アルカ

答 前面ニ方ル白燈第四條ノ標示燈ト左舷六點以内ヨリ接近シ來ル綠燈右

舷二點以内ヨリ接近スル紅燈ニ對シテハ替手段ヲナサネバナリマセ

ヌ

問 左舷正横後ニ風ヲ受ケ航行ノ帆船ハ如何ナル燈火ヲ替スベキ義務アル

カ

答 前面ノ白燈及第四條ノ標示燈並ニ帆船ノ兩舷燈及ビ左舷六點以内ノ綠

燈及ビ右舷ニ方ル紅燈ハ悉ク替シ行クベキ覺悟ヲナサネバナリマセヌ

問 船尾風ヲ受ケ帆走スル船ハ如何ナル燈火ヲ換スベキカ

答 汽船及追越シ來ル船ノ外ハ幾ンド凡テ燈火ニ對シテ航路ヲ替スベキ義

務ヲ有スルモノデアリマス

汽船ノ出會

問 汽船北ニ向テ航行中其前面ニ方テ白綠紅ノ三燈ヲ認メタルトキハ他船

【汽船ノ出會】

ハ如何ナル方向ニ進行スルモノナルカ

答 南ニ向ヒ我船ト真向ニ出會スル汽船デアリマス

問 其時自船ハ如何ナル處置ヲナスカ

答 汽船真向或ハ幾ント真向ノ場合ニハ第十八條ニ依リ互ニ針路ヲ右轉シテ替シマス

問 汽船北ニ針シテ通航中右舷船首ニ白紅緑ノ三燈ヲ見タルトキハ他船ハ如何ナル方向ニ進行スルモノナルカ

答 他船ハ燈火ノ正反對ノ方位ニ向テ進行シ最早ヤ替リ行カントスル汽船ナル故我船ハ其儘針路ヲ保チテモ差支アリマセス

問 其場合ハ他船ヲ右舷ニ見ル船ナル故右轉シテハ不可ナルカ

答 然ル場合ニ右轉スルハ違法デアリマス

問 右轉シテ適法ノ場合トハ如何ナルトキヲ指スカ

答 夜間ニアリテハ互ニ他船ノ兩舷燈ヲ見ルトキニ限り適用スベキモノニ

テ綠紅ノ兩燈ヲ前面ヨリ他ノ位置ニ見ルトキハ適用スヘキ場合デアリマセヌ

問 夜間ハ兩舷燈ヲ互ニ見ル場合ヲ以テ真向ノ標準トスルガ晝間ハ何ヲ標準トスルカ

答 我船ノ橋ト他船ノ橋ト一直線又ハ幾ンド一直線ニ見ユルトキヲ標準トシマス

問 殆ンド真向キノ際兩舷燈ヲ見得ルハ左右舷何點位ナリヤ

答 船首左右二分ノ一點以內ナラ見得マス(講義參照)

問 北東ニ向テ航進シ右舷船首二點ニ方リ白紅ヲ認メタルトキハ他船ハ如何ナル方向ニ進航スルモノナルカ

答 他船ハ西南西稍ヤ西ヨリ約十點間北迄ノ内ニ針路ヲ取り航行スル汽船デアリマス

問 其時自船ニ於テハ如何ナル處置ヲナスカ

答 其時自船ニ於テハ如何ナル處置ヲナスカ

答 第十九條ニ依リ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセヌ

問 他船ノ航路ヲ避クルトキハ那方ニ針路ヲ轉スルカ

答 右轉シマス

問 何故ニ右轉スルカ

答 右轉スルハ他船ノ紅燈ニ對シテ我船ノ紅燈ヲ對向セシムル爲メデアリ

マス

問 汽船西ニ向テ航行中右舷船首三點ニ白綠燈ヲ見タルトキハ他船ハ如何

ナル方向ニ進航シツ、アルカ

答 他船ハ南東イ東少シク東ヨリ北イ東ノ約十點間ノ間ニ向テ進行スル汽

船デアリマス

問 其他船ニ對シテハ如何ナスカ

答 其儘進行シマス

問 他船ヲ右舷ニ見タル汽船其儘進行シテ可ナルカ

答 他船ノ綠燈ト我船ノ綠燈ト相對シ居ルカ故既ニ替リ居ルモノデアリマ

ス

問 汽船東ニ向テ航行中左舷四點ニ當リ白綠燈ヲ見タリ其時ハ如何ナス

答 其儘進行シマス

問 其船ハ替リ行クベキ船ナルカ

答 其他船ハ南西少シク南ヨリ東南東ノ間ニ向テ我船ノ前面ヲ左舷ヨリ右

舷ニ横切リ進行スルモノデアリマス

問 若シ其時兩汽船接近衝突ノ虞アルトキハ就船ニテ船路ヲ避クベキ義務

アルカ

答 他船ハ我船ヲ右舷ニ見ルモノデアリマス故ニ他船ニ於テ第十九條ノ義

務ヲ守ラネバナリマセヌ

問 南ニ向テ航行スル汽船右舷正横後一點余ニ方リ他船ノ白紅燈ヲ認メ兩

船漸次接近シ來ルトキハ如何ナスカ

【汽船ノ出會】

答 若シ衝突ノ危険アルトキハ機關ヲ緩メ或ハ停止シテ他船ヲ替ス手段ヲ取ラネバナリマセヌ

問 其レハ何故ナルカ

答 我船ハ他船ヲ右舷ニ見ル義務船デアリマス

問 他船ハ正横後ヨリ進行シ來ル追越船ニハアラザルカ

答 舷燈ノ見エザル位置即チ正横後二點以外ヨリ來ルモノニアラザレバ追越船トハ云ハレマセヌ前問ノ如キハ矢張り横切船ニテ第十九條ヲ適用スベキ筈ノモノデアリマス

問 北東風ヲ受ケ北ニ向テ航行中左舷船首四點ニ方リ綠燈一個ヲ見タルト

答 他船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船デアリマス若シ接近衝突ノ虞アルトキハ我船ハ第二十條ニ依リ他船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ハ南東ヨリ東南東ニ向テ我前面ヲ左舷ヨリ右舷ニ横切リ航行スル

問 帆船ノ航路ヲ避ケネバナリマセン

答 帆船ト雖モ汽船ヲ追越シ行クトキハ第二十四條ノ規定ニ遵ヒ追越サル

問 汽船航行中左舷船首ニ方リテ出現シタル白燈ノ方位變更セズ接近シ來タル趨勢ヲ認テタルトキハ如何ナスカ

答 其距離近カラザルトキハ船首ヲ一旦其燈火ニ向ケテ方位ノ變更スルヤ否ヤヲ注視シマス

問 若シ其距離近キトキハ如何ナスカ

答 方位變更セザルトキハ其白燈ヲ他舷ニ見ルマデ船首ヲ轉ジマス

問 北風ヲ受ケ西ニ尙テ航行ノ汽船前面ニ方リ間近ク漁船ノ白燈ヲ見タルトキハ如何ニ替スカ

答 南方ニ替シマス
問 南方ニ替スハ何故ナルカ
答 漁業ニ従事スル帆船ハ其風上ニ網或ハ繩等ノアル虞アリ由テ南方ノ風

下ニ替シマス

問 汽船航行中右舷正首ニ接近シタル他船ノ白綠燈ヲ見タルトキハ如何ナスカ

答 現時ノ狀況ニ差支ナクバ他船ノ燈火ヲ一點以上ノ方位ニ見ル様船首ヲ左轉シテ其方位ノ變更ヲ慥カメマス

問 何故左様ナルコトヲナスカ

答 夫レハ船首角ヲ開廣スレバ慥カニ方位ノ變更ヲ確ムルコトガ出來マス

問 夜間他船ガ船尾ニ衝附ケテ進行シ來ルトキ他船ニ對シテ何カナスベキコトカ

答 船尾ヨリ白燈ヲ表示シテ其儘針路ヲ保チ行キマス場合ニヨリ注意喚起ノ爲メ難船信號ト混同セザル様爆裂信號ヲナスモ差支アリマセス

問 汽船狹隘ナル水道ニ於テ他船ト出會スルトキ何カ遵守スベキ規定ナキカ

答 其中流ヨリ右側ニ當ル方ヲ通行スル様ナシマス

問 汽船狭隘ナル水道ニ通航スルニハ必ズ中流ヨリ右側ヲ添フテ航行スベキモノデアアルカ

答 夫レハ(無難ニ通航シ得ルトキ)トアルニヨリ絶對的右側ヲ通航スベシト云フモノデアアリマセヌ

問 狭隘ノ水道ノ程度ハ如何

答 別ニ規定ハアリマセンガ二湍以下ノ水道ト思ヒマス

問 汽船航行中島嶼岬角等ノ蔭ヨリ突然他ノ汽船現ハレ危険切迫ノ位置ニ於テ出會シタルトキハ如何ナスカ

答 權利船義務船ヲ論ゼズ衝突ヲ防グニ最モ適切ト確認シタル手段ヲ取ラネバナリマセヌ

問 然ル場合ニ針路ヲ轉ズルトキ他船ニ向テ何カナスコトナキカ

答 第二十八條ニ依リ我針路ヲ右轉スルトキハ汽笛若クバ汽角ヲ以テ短聲

一發左轉スルトキハ二發若シ全速力後退ヲナストキハ三發ヲナシテ航

路ヲ轉ズルコトヲ知ラサネバナリマセヌ

問 第二十八條ノ航路信號ハ危険切迫ノトキニノミナスベキモノナルカ

答 都テ他船ニ近寄り我船ノ針路ヲ轉ズルトキ爲スベキ通知デアリマス

問 航路信號ハ他船ニ近寄針路ヲ轉ズルトキ必ズナスベキ合圖ナルカ

答 是非トモナスベキ信號デアリマス

問 此ノ航路信號ハ針路ヲ變セントスル前ナスベキモノカ變ジテ後チニナスベキモノカ

答 決意着手ノトキニナスベキモノニテ此信號ヲナシタル以上ハ其信號ノ通り決行スベキモノデアリマス

問 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

答 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

問 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

答 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

問 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

答 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

問 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

答 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

問 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

答 汽船夜間航行中機關ニ故障ヲ生ジ使用シ能ハザルニ至リタルトキハ第一着ニ如何ナルコトヲナスカ

【汽船ノ出會】

ニテ進行スルトキハ舷燈ノミヲ點ジ置キマス

問 晝間ナレバ如何ナスカ

答 直徑二尺ノ黒球若クハ黒色ノ形象二個ヲ上下六尺ヲ隔テ連掲シテ表示

シマス

問 帆ヲ用テ運行スル場合ニハ如何ナスカ

答 煙突ヲ引下ゲテ全ク汽力ヲ用ヒザルヲ示シマス

問 若シ其煙突ヲ引下グルコトガ出來ザルトキハ如何ナスカ

答 前方ノ最モ見得易キ處ニ直徑二尺ノ黒球若シクハ黒色ノ形象一個ヲ掲

ゲ置キマス

問 汽船航通瀕繁ナル海路ヲ通航スルニ際シ風位俄カニ船尾ニ回リタルト

キハ如何ナル警戒ヲナスカ

答 自船ノ煤煙前面ヲ蔽抹シ爲メニ接近シ來ル他船ノ燈光ヲ見誤ル虞アリ

ト思フトキハ狀況ノ許ス限リ針路ヲ少シク安全ナル側ニ轉ジテ進行ス

ル様イタシマス

問 航行中ノ汽船ト「トロール」汽船トノ權利義務ハ如何ニ考フルヤ

答 第九條ハ後ヨリ挿入シタ條項デアツテ船燈ノ規定ノミデ航法ノ規定ハ

アリマセン故其權利義務ハ其線縦ノ難易ヲ判斷シテ汽船ヨリ替スガ至

當ト考ヘマシカシ「トロール」汽船ト雖モ無理ナル航法ヲ取ラヌ様心掛

ケネバナリマセヌ

問 ソレハ本法ニ違反セザルヤ

答 第二十九條ニアル海員ノ常務即チ常識ノ義務ヲ以テ所置スルノデスカ

ラ違反ニハナリマセン

問 汽船航行中正首以外ニ見タル帆船ニ對シテ其儘針路速力ヲ保チ進航シ

テ差支ナキ場合ヲ述ベヨ

答 兩舷燈ヲ同時ニ見ルトキ彼我同舷或ハ彼我舷燈同色相對スルトキ彼我

舷燈異色相對スルモ其方位著シク變更スルトキ及ビ正横後二點以下ヨ

リ自船ヲ追越シ來ルトキハ其儘進行スルナリ

問 汽船ニ對シテハ如何

答 矢張り正首以外ニ兩舷燈ヲ同時ニ見ルトキ彼我同舷相對シ或ハ彼我舷

燈同色相對スルトキ他船ノ右舷ハ我ガ左舷ト對シ或ハ他船ノ綠燈我ガ

紅燈ニ對スルモ並行シタルトキ及ビ正横後二點以外ヨリ我船ヲ追越シ

來ルトキハ其儘懸念ナク進航シマス

問 汽船夜間航行中正首以外ニ方ル如何ナル燈火ニ對シテ警戒ヲ加フベキカ

答 正横前ニ當ル帆船ノ燈火異色相對スルトキ及ビ右舷ニ方リ汽船ノ紅燈

ヲ見ルトキハ警戒ヲ加ヘ其方位變更ヲ確認セザレバ時機ヲ愆タズ本法

ノ規定ヲ適用セネバナリマセヌ

雜問

問 本法ノ規定ヲ適用スベキ至當ノ時機トハ如何ナル場合ヲ指スカ

答 互ニ近寄りテ衝突ノ虞レアル場合衝突ヲ防グニ充分ノ時機デアリマス

問 若シ時機ヲ愆タバ如何ナル責アルヤ

答 本法違犯ニナリマス

問 如何ナル事柄ガ本法違犯デアルカ

答 過失懈怠又ハ不當ノ行為ニヨリ衝突ヲ惹起シタル場合ヲ申シマス

問 過失トハ如何ナル行為ヲ云フカ

答 海員タル常識ヲ以テ思慮スレバ普通免レ得ベキ注意ノ缺ケタル行為ヲ

云フモノデアリマス

問 懈怠トハ如何ナル行為ヲ云フカ

答 點燈信號又ハ見張其他海員ノ常務又ハ臨機ノ處置ニ必要ナル注意等ノ

應爲義務ヲ怠リタル行為ヲ申シマス

問 不當行為トハ如何

答 疎虞怠慢ノ爲メ又ハ故意ニテ本法ニ背戻ノ場合ヲ云フモノデアリマス

問 本法違反ノ責ハ何人ノ負フベキモノナルカ

答 船舶主及ビ船長場合ニヨリ海員ニ至ルマデ其責ヲ免ルベカラズト本法

二十九條ニ規定シテアリマス

問 船主ハ如何ナル責ヲ責フベキカ

答 船員ノ本法違反ニヨリ惹起シタル加害衝突ノ損害ニ就テハ被害者ニ對

シテ補償ノ義務ヲ負ハネバナリマセス

問 船長ニハ如何ナル責罰アルヤ

問 船長ノ過失懈怠不當行為ニ對シテハ海員懲戒法ニ依リ處分ヲ受クル外

死傷者アル場合ニハ尙ホ刑法ニ依リ過失殺傷罪ニ問ハレ若シ其行為ノ

故意ナルトキハ刑法第四百十五條ノ船舶覆没ノ罪ニ問ハレ無期徒刑死

亡者アレバ死刑ニ處セラルベキモノデアリマス

問 海員ニ對シテハ如何ナル制裁アルカ

答 免狀ヲ有セザルモノハ海員懲戒法ノ所分ヲ受クルコトガアリマセン

問 兩船衝突ノ場合ニハ加害者ハ必ズ被害者ニ對シテ損害ヲ補償スベキ義

務アルベキモノナルカ

答 夫レハ民事上ノ問題ニ涉リマスケレドモ互ニ補償ノ義務ナキ場合ト被

害者都テ賠償ノ義務アル場合トアリマス

問 兩者賠償ノ義務ナキ場合トハ如何ナル場合ナルカ

答 天災ノ如キ不可抗力ノ爲メ衝突ノ發生シタル場合デアリマス

問 被害者ニ於テ損害填補ノ義務アル場合ハ如何

答 被害者ノミ過失アリタルトキデアリマス

問 兩者ニ過失アリ其程度判明セザルトキハ如何ニ賠償ノ義務ヲ分擔スル

カ

問 商法海商篇ノ規定ニヨリ兩者損害ヲ平分シテ負擔スベキデアリマス

問 兩者ニ過失アリ其程度ニ差アルトキハ如何

答 民法ノ規定ニヨリ裁判所ハ賠償ノ額ヲ定ムルニ斟酌スベキデアリマ

衝突損害ハ如何ナル程度マデ辨償ノ義務アルベキカ

問 所有者ニ過失アラザレバ當時ノ船舶運送貨及ビ船舶所有者ノ船舶ニ付

有スル債權ヲ悉ク委付スルニ於テハ其責ヲ危ルコトヲ得マス如何ニ

答 損害大ナルモ其以外ニ及ボスコトハアリマセン

問 衝突ノ損害ハ何年タツテモ請求シ得ベキモノデアアルカ

答 一ケ年ヲ經過スレバ時効ニヨリ消滅シマス

問 衝突ノトキ船長ガ第一着ニナスベキハ如何ナルコトカ

答 兩船引離スモ危険ナキヤ否ヤヲ確認シ危険ナキトキハ速力ニ引離シテ

自船ノ被リタル損害ノ状態漏水ノ如何ヲ檢スルコトアリマス

問 踵テ如何ナルコトヲナスカ

答 自船ニ急迫ノ危険ナキトキハ及ブ限リ他船ヲ救助シ又我船名船籍發着

港等ヲ通知シテ他船ノ船名船籍發着港等ヲ聞キ取置カネバナリマセン

問 若シ救助ヲナサズ船名ヲモ通知セザルトキハ如何ナル制裁アルカ

答 船員法第五十三條ニ依リ處分ヲ受ケネバナリマセン

問 豫防法ノ規定中地方廳ノ制定シタル港灣湖川等ニ係ル地方取締規則ト

抵觸アル場合ハ如何スベキヤ

答 地方長官ニ於テ特ニ制定シタルモノナルトキハ其規則ヲ遵守シテ差支

ヘナキコトハ本法ノ認ムル所デアリマス所謂特別法ハ普通法ニ勝ルノ

効力アルノデアリマス

問 點燈信號ニ就キ例外ノ場合アルカ

答 艦隊列ヲナシテ航行シ又ハ運送船カ軍艦ニ護送セララルトキ杯ニ用フ

ル列位燈及信號燈ヲ揭示シタリ又ハ政府ノ許可ヲ受ケ登簿公告ノ手續

ヲ經タル識別信號ヲ使用スルハ本法ニ於テ是認シ居ル所デアリマス

海上衝突豫防法問答終

285
4
363

明治三十九年七月五日發行
大正十四年四月二十日二十九版

定價六十錢

發行所ノ許
諾ヲ得ズシ
テ本書ノ
複製ヲ禁ズ

發行兼
著作
者
海
士
學
館

大阪市港區市岡町五五八番地ノ四
大阪市北區梅ヶ町一〇八番地

印刷者
天
野
正
治
郎

大阪市港區市岡町磯路橋停留所西

發行所
中
山
海
士
學
館

振替口座大阪六八二九三番
電話西二〇九三番

發
賣
所

同
同

大阪市東區南本町四丁目
振替口座大阪六九六番
電話船場三六一六番
大阪市港區北境川町
振替口座大阪二五〇四番
電話西二〇四八番
神戸市元町通三丁目
振替大阪五〇四〇八番

三
宅
莊
藏

境
川
文
庫

賀
集
海
文
堂